

総合型地域スポーツクラブ

田鶴浜スポーツクラブ

設立20周年記念誌

～ みんなで歩んだ20年

そして未来へ ～



令和元年 7 月 21 日

【発刊にあたり】

発刊にあたり	田鶴浜スポーツクラブ会長 山口 進	・・・	1
祝 辞	石川県知事 谷本 正憲	・・・	2
田鶴浜スポーツクラブ設立 20 周年を祝して	七尾市長 不嶋 豊和	・・・	3
祝 辞	いしかわクラブゾーン会長 赤井 孝	・・・	4
今思う 黎明の時	田鶴浜スポーツクラブ前会長 福田 教導	・・・	5

【20 年の沿革と活動】 ・・・ 6

加盟団体の活動

田鶴浜ジュニアソフトテニスクラブ	・・・ 8	田鶴浜ヒート	・・・ 9
田鶴浜クレーンズ	・・・ 11	田鶴浜ブルーエンジェルス	・・・ 13
城山アスリートクラブ	・・・ 15	相馬・田鶴浜バドミントンクラブ	・・・ 17
FC 七尾ウエスト	・・・ 18	七尾中学校 陸上部	・・・ 19
七尾ソフトテニスクラブ 女子	・・・ 22	七尾ソフトテニスクラブ 男子	・・・ 23
七尾中学校女子バスケットボール部	・・・ 25	七尾ジュニア男子バスケットボールクラブ	26
田鶴浜バスケットボールクラブ	・・・ 27	チームアサヒ	・・・ 28
リチャリー	・・・ 29	田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会	・・・ 30
田鶴浜ゲートボール愛好会	・・・ 31	弓道協会田鶴浜支部	・・・ 33
NOTO ヤンキース	・・・ 34	いずみ会	・・・ 35
さくら姫	・・・ 36	卓友会	・・・ 37
29の会	・・・ 38	のびのびクラブ	・・・ 39
輝き3号	・・・ 40	スポーツ推進委員	・・・ 41

【資 料】

田鶴浜スポーツクラブ規約	・・・ 42	ソフト事業年度別収支状況	・・・ 44
年度別会員数	・・・ 46	役員・代表委員・スポーツ推進委員名簿	47
ジュニア指導者名簿	・・・ 60	実行委員会組織図	・・・ 66

あとがき	・・・ 67
------	--------



発刊にあたり

田鶴浜スポーツクラブ
会 長 山 口 進

田鶴浜スポーツクラブ設立 20 周年にあたり、これまで、当スポーツクラブを支えてくださいました会員の皆さま、ご支援を賜っている行政機関、育成・発展に情熱を注がれた前会長、歴代役員・関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

さて、当スポーツクラブは、田鶴浜町時代に町民が「いつでも、どこでも、誰でも」を念頭におき「田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会」が福田教導田鶴浜町教育長を会長に据え、文部省(当時)に総合型地域スポーツクラブ育成モデルとして申請し、認定され、平成 11 年 10 月に石川県第 1 号としてスタートしました。

その後、平成 16 年の市町村合併に伴い、「田鶴浜スポーツクラブ」に名称変更され、現在 24 団体、522 名の会員が田鶴浜体育館を拠点として、老若男女問わず生涯スポーツや競技スポーツを楽しんでおります。

市町村合併や中学校統合で、地域の環境が大きく変化しました。そんな中で「自分たちの地域は自分たちで」そんな意識が高まり、ボランティアによる環境整備、地域の人材と連携した子育て支援、そして、中学校クラブ活動とのより一層の連携など、スポーツを通じた地域の課題解決に向け、新たな取り組みも始めています。

スポーツには地域を元気にする力があります。千葉ロッテマリーンズ角中勝也選手をはじめ、多くの先輩方の活躍が、「田鶴浜から全国へ、そして日本一」の機運が益々高まり、そのことが、大きな励みとなっております。

最後になりますが、設立当時より、いつも夢に向かって走ってまいりました。これからも、この地域に「夢と希望」を少しでも感じてもらえる田鶴浜スポーツクラブになれるよう、新たな気持ちで未来に向かって進んで行きたいと思いますので、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げまして発刊にあたってのご挨拶といたします。



祝 辞

石川県知事 谷本 正憲

このたび田鶴浜スポーツクラブが設立 20 周年の節目を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは、平成 11 年 10 月の設立以来、石川県の総合型地域スポーツクラブの先駆けとして、地域でのスポーツの普及・振興や生涯スポーツ社会の実現に向け、多種多様なスポーツイベントの開催や体験教室を開催されるなど、スポーツを通じて、青少年の健全育成や地域の皆さんの健康の増進、体力の向上に大きく貢献してこられました。

とりわけ、競技力を向上させるため、長期的な視点での質の高い指導を一貫して提供されてきたことで、貴クラブ出身の千葉ロッテマリーンズの角中勝也選手をはじめ、近年目覚ましい活躍を見せる選手が出てきております。

こうしたことは、県民に夢や希望を与えるだけでなく、多くの子どもたちにとっても大きな励みとなるものであり、山口会長をはじめ、歴代役員並びに会員の皆様方のたゆまぬ努力と情熱に深く敬意を表するとともに、改めて感謝を申し上げる次第です。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まで 1 年を切り、国民全体のスポーツに対する機運はますます高まっており、スポーツの裾野を広げる絶好の機会が到来しています。こうした中、地域で身近にスポーツを楽しむことができる環境づくりに取り組む皆様方の活動は、今後ますます重要となっています。

本県としましては、県民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境づくりを目指して、生涯スポーツの普及に努めているところであり、今後とも様々な取り組みを進めてまいりますので、皆様方のさらなるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、田鶴浜スポーツクラブにおかれましては、20 周年の節目を契機とし、今後とも、地域でのスポーツの普及・振興、生涯スポーツ社会の実現に向けて、一層ご尽力いただくとともに、さらなる飛躍を遂げられますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



田鶴浜スポーツクラブ設立20周年を祝して

七尾市長 不嶋 豊和

平成11年に、市民スポーツ活動の振興・発展をめざした総合型地域スポーツクラブとして、石川県では1番目に設立されてから、早20年の歳月が過ぎようとしています。

田鶴浜スポーツクラブ20年の足跡を綴る記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、今日までの貴クラブの足跡が本誌に収録され、時代を担う若人に引き継がれますことは、誠に素晴らしいものであり、かけがえのない財産になるものと感じております。

顧みますと、貴クラブが設立されて以来、20年にわたり本市のスポーツ行政に多大なる貢献をされてきました。

平成27年度にはスポーツの普及及び発展に貢献し地域におけるスポーツ振興に顕著な成果をあげたとして、生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学大臣表彰）を受賞する等、貴クラブの発展が見てとれます。

また、各競技において、全国大会へ出場する所属選手の育成や、元プロ選手を招いての教室の開催など、子ども達に夢を与える事業を行い、本市のスポーツ推進に並々ならぬご尽力をいただいていることに深く敬意を表します。

現在は、田鶴浜地域づくり協議会との連携で少年期における運動意識の向上を図る、「スポーツ体験“のびのびクラブ”」を開設され、スポーツの楽しさを伝える等、地域の現状を一早く察知された事業を行っておられます。

今後とも、より多くの地域の方々がスポーツ活動に参加し、健康づくりや青少年の健全育成、コミュニティづくりの場となっていくことを期待しています。

結びになりますが、これまでの20年間、貴クラブを支えてこられた関係者の皆様に心から感謝と敬意を申し上げますとともに、更なるご発展とご活躍を祈念申し上げて発刊に寄せるお祝いの言葉といたします。



祝 辞

いしかわクラブゾーン
(石川県クラブ連絡協議会)

会 長 赤 井 孝

このたび、田鶴浜スポーツクラブが設立 20 周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。
「いつでも・どこでも・誰でも」の精神を念頭に、「多世代」、「多種目」、「自主運営」、「個人／協賛会員(自主財源)」、「一貫指導」、「拠点施設」という 6 つの柱を掲げ、田鶴浜スポーツクラブが石川県内の先陣を切って平成 11 年 10 月に設立されましたことは、田鶴浜地域のみならず、後に続く各地域での総合型地域スポーツクラブ設立の先駆けとして、重要な第一歩でありました。その功績に改めて敬意を表するとともに、心からの感謝を申し上げます。

また、クラブの活動を拝見致しますと、子ども達からご年配の方々までを対象とした定期教室や世代間交流イベント、中学校部活動の支援、地元出身「角中勝也選手」応援ツアー、トップ指導者招聘のクリニック、体育施設の管理・活用など、先に述べた 6 つの柱を体現する取り組みが着実に行われています。その成果は、将来を期待されるジュニアアスリートの輩出、健康・生きがいがづくり、使いやすい施設運営に結実し、活力あふれる地域づくりに多大なる貢献をなされています。とても素晴らしいことだと感じます。

さて、設立から 20 年の間には、クラブ運営の基盤となる地域社会の環境も大きな変貌を遂げてきました。地方に押し寄せる過疎、高齢化、人口減少の波が、地域の活力を奪いつつあります。これからの地方のまちづくりでは自助・共助・公助でいう「共助」、つまり、地域での支えあい、助け合いが欠かせません。そのベースとなるのは地域住民間のつながり、信頼関係であり、田鶴浜スポーツクラブの果たす役割がますます重要になることに間違いありません。

設立 20 周年という節目に発行されるこの記念誌が、これまでのクラブの足跡をふりかえり、そして、この先の未来へ向かうスタートとなることを祈念しております。今後もスポーツを通じた地域の皆様の心身共々の健康づくり、明るく元気なまちづくりに田鶴浜スポーツクラブが大きな貢献を果たすと確信しております。

田鶴浜スポーツクラブの 20 年間の軌跡と、ご尽力されました関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、これからのますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。

本当におめでとうございます。



今思う 黎明の時

田鶴浜スポーツクラブ
前会長 福田 教導

20 周年おめでとうございます。クラブ運営に係ってきた多くの仲間に感謝申し上げ、共に喜びたいと思います。田鶴浜スポーツクラブは地域の誇りであります。

今振り返れば、まさに黎明の時、「地方にもスポーツクラブの育成」という動きの中、不安と期待をもって、田鶴浜スポーツクラブが歩み始めたことを思い出します。

その頃の田鶴浜町の社会体育費はおよそ 1000 万円、町財政の逼迫の中、スポーツ振興は大変厳しものがありました。サッカーくじ toto からの 500 万円の補助は大きな魅力でした。

当時は体育協会と体育指導委員会を中心に体育行政は展開されておりました。子ども達のスポーツは小学校の先生方と体協加盟団体のボランティアによってスポーツ教室が開かれ、中学校は部活動として先生方の指導を得る学校に依存した少年スポーツの展開でありました。

「いつでも どこでも 誰でも 継続的に」スポーツに参加できるという自主運営型「総合型地域スポーツクラブ」は大きな魅力でありました。町の社会体育事業をスポーツクラブが自主的に会費制で運営していくという夢のようなクラブ理念でした。しかし、「スポーツをするのに会費を支払う」「体育館や運動場を使用するのに利用料を払う」等、地域のスポーツ愛好家には受け入れられないことが多々ありました。クラブ設立を推進する大学の先生方の理論と私たち地方の町の意識とは大きなずれもありました。

しかしながら、中学部活動の指導者不足、学校 5 日制の始まり、迫りくる市町村の合併、とスポーツ行政の変革の必要性は時を待ってはくれません。そのため、多くの課題を抱えながらも石川県で初めての総合型地域スポーツクラブ(田鶴浜スポーツクラブ)を誕生させたのです。

それから 20 年。会費制も定着し、小学生から大人まで男性も女性も一つのクラブに所属し互いに認め合い、助け合い、心を一つにスポーツ活動を楽しんでいます。七尾市という大きくなった行政の中で地域の埋没が懸念される中、田鶴浜はスポーツクラブを中心に地域コミュニティづくりがなされ、健康で明るく豊かなまちづくりが進んでおります。地域づくり協議会と一体となった運動会、老若男女みんながかかわる運動場清掃、全国的にも活躍するアスリートの排出、この地域に誇りを感じます。

ありがとう田鶴浜スポーツクラブ。

20 年 の 沿 革 と 活 動



平成 11 年 10 月 27 日 設立総会



平成 29 年 12 月 6 日 2017 忘年会

20 年の沿革と活動

西暦年度	和暦年度	沿 革 と 活 動
1999	平成 11	田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会設立。(田鶴浜町スポーツクラブと称す)【石川県総合型スポーツクラブ第 1 号】 初代会長に福田教導氏就任。(兼田鶴浜町教育委員会教育長) 田鶴浜町スポーツクラブから田鶴浜町体育協会へ事業費助成。(H11～H16 年度) 石川県の補助を受け事業を実施。(H11～H13 年度)
2000	平成 12	会員会費を小・中学生 1,000 円、～64 歳 2,000 円、65 歳以上 1,000 円とする。 ホームページを開設する。
2001	平成 13	規約改正 田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会を田鶴浜スポーツクラブ推進協議会に改正する。 会員枠に自治公民館会員と賛助会員を設ける。(H13～H16)
2002	平成 14	toto の補助を受け事業を実施する。(H14～H15 年度) 田鶴浜町バスケットボール協会 文部科学省より生涯スポーツ優良団体表彰を受賞する。
2003	平成 15	会員にファミリー会員枠を設ける。(H16～H17)
2004	平成 16	規約改正 田鶴浜スポーツクラブ推進協議会を田鶴浜スポーツクラブに名称変更する。 新田鶴浜町立田鶴浜小学校開校する。(旧田鶴浜・相馬・金ヶ崎小学校閉校) 合併により事務局員が七尾市教育委員会職員となる。
2005	平成 17	規約改正 理事に七尾市体育協会、スポーツ推進委員を追加する。 クラブ内に 20 名の田鶴浜スポーツ推進委員が加わる。
2006	平成 18	規約改正 スポーツ推進委員会・推進委員事業を追加する。 田鶴浜中学校の運動部がスポーツクラブに加入する。
2009	平成 21	規約改正 体育施設管理を追加し部会名を改正する。 事務局員が七尾市教育委員会職員から田鶴浜スポーツクラブ会員による事務管理を行う。 会員会費を～64 歳 3,000 円、65 歳以上 1,500 円に改正する。 能登和倉万葉マラソン 2009 の給水エイド協力を行う。 田鶴浜体育施設の指定管理者となる。 会員会費を小・中学生 1,500 円、～64 歳 3,500 円、65 歳以上 2,000 円に改正する。 石川県生涯スポーツ優良団体表彰を受賞する。 スポーツクラブ設立 10 周年と県生涯スポーツ優良団体表彰祝賀会を兼ねた忘年会を開催する。
2011	平成 23	東日本大震災チャリティふれ愛スポーツフェスティバルを開催する。
2013	平成 25	二代会長に山口進氏就任。
2014	平成 26	多くの会員参加を目指し忘年会々場を田鶴浜公民館とする。 田鶴浜中学校陸上部男子が全国中学校駅伝大会で 8 位に入賞する。

20 年の沿革と活動

西暦年度	和暦年度	沿 革 と 活 動
2015	平成 27	規約改正 事務局 1 名を若干名に改正する。 第1回7FIELDS CUP 開催する。(3 回大会より NANAO BAYSIDE CUP に改名する。) 文部科学省より生涯スポーツ優良団体表彰を受賞する。 3×3 国際大会に堀田秀幸氏(田鶴浜バスケットクラブ)が出場する。 和田歩美さん(田鶴浜中学校)が全日本競歩能美大会 中学女子 3 km で優勝する。
2016	平成 28	田鶴浜体育館耐震化工事を行う。 大規模な熊本地震に義援金を送る。 七尾市立田鶴浜中学校閉校する。(4 月から七尾中学校に統合)
2017	平成 29	規約改正 総会は代表委員によって議決することに改正する。 スポーツ体験「のびのびクラブ」を開講する。 高村政藤氏が国民体育大会の県女子ゲートボール監督に就任し、3 位となる。 筆安欣子氏が国民体育大会の県グラウンドゴルフ選手として出場し、団体優勝する。 SNS による除草ボランティアを実施する。 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」回収 BOX を設置する。
2018	平成 30	旧田鶴浜中学校グラウンドの愛称を募集し、日和ヶ丘グラウンドに決定する。 山口進氏が文部科学省より生涯スポーツ功労者表彰を受賞する。 七尾中学校陸上部女子が全国中学校駅伝大会で第 3 位となる。 七尾中学校陸上部女子が全国中学生クロスカントリー選手権大会で第 2 位となる。
2019	令和元	高村政藤氏がいしかわ生涯スポーツ功労者賞を受賞する。 田鶴浜スポーツクラブ設立 20 周年記念式典を挙げる。 福田教導氏に感謝状を贈る。 星稜高校野球部名誉監督の山下智茂氏が記念講演を行う。



2017 スポーツクラブ 忘年会

忘年会参加者数

2014 年	61 人
2015 年	96 人
2016 年	104 人
2017 年	102 人
2018 年	124 人

生涯スポーツ優良団体表彰受賞 (文部科学省)

田鶴浜スポーツクラブ
平成 27 年 10 月 12 日

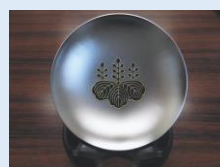


田鶴浜町バスケットボール協会
平成 14 年 10 月 14 日



生涯スポーツ功労者表彰受賞 (文部科学省)

山 口 進 氏
平成 30 年 10 月 8 日



国際大会
出 場

堀田 秀幸 氏 3×3 PREMIER.EXE
WORLD GAMES 2015 CHINA 出場
平成 27 年 10 月 24・25 日



加 盟 団 体 の 活 動

田鶴浜ジュニアソフトテニスクラブ

【設立の経緯】

上島藤吉さんと一花實さんの両氏が、昭和56年に田鶴浜テニスコートが造成されたことを機に、ジュニアの育成・ソフトテニス普及を目的として、同クラブを立ち上げました。

当初は全天候型テニスコートとして、県内のどこにもないコートでした。平成16年にはオムコートに代わり、ナイターも設置されました。

主に女の子が多く入部していましたが、時々男の子が入部し、活動してきました。

現在は、男の子6名で活動しています。

【歴代の講師】

上島 藤吉、一花 實、南 朋之
赤坂 幸美、大畑 邦広、平野 粹子
船山 維人、山澤 豊和

【近年の試合結果】

第46回石川県小学生ソフトテニス選手権大会

2018年5月12日

<2部男子>

2位 北谷唯翔・石倉洋人ペア



穴水市民春季大会 令和元年5月26日

第22回石川県小学生学年別ソフトテニス大会

2018年10月6日

<5年男子>

5位 北谷唯翔・石倉洋人ペア

7位 船山蓮仁・竹内海斐ペア

11位 一花榮記・大橋玲央ペア

第15回石川県ソフトテニスインドア大会

2019年2月17日

14位 北谷唯翔・石倉洋人ペア



令和元年 全クラブ員

【活動日】

水曜日 19時15分から20時45分

土曜日 13時30分から16時30分

日曜日 9時から12時

【活動場所】

田鶴浜テニスコート

田鶴浜体育館（雨天・冬季）

田鶴浜ヒート (ミニバスケットボール男子)

【設立の経緯】

田鶴浜ヒートミニバスケットボールクラブは、平成 5 年に旧田鶴浜町バスケットボール協会のバスケットボール普及と底辺拡大をねらった活動として開設されました。平成 11 年度からは、総合型地域スポーツクラブのひとつとして位置づけられ、現在に至っています。

【スローガン】

🔥 ～限りなき挑戦と前進～ 🔥

チームカラーは「熱い心」(Heat Heart)の名の通り「炎の赤」です。ユニフォームなどは、全て赤を基調としています。応援旗にはクレーンズカップ開催を記念してつくられた『限りなき挑戦と前進』と『元気・感動・仲間・成長』です。

ヒートは、常にチャレンジ精神をもち、自分を向上させ変容していったほしい。

また、『元気・感動・仲間・成長』には、スポーツによって元気になり、感動を体験し、たくさんの仲間と出会い、そして、人間的に成長して欲しいという願いが込められています。

【通年目標】

バスケットボールを通じて、次世代を担う子ども達の成長を目指します。また、指導者、保護者、学校、地域が一体となり、ひとつの事を協力してやり遂げる強さを持てるようになることを意識しています。ミニバスケットボールの精神「友情、ほほえみ、フェアプレー」を忘れず楽しくやっています。

【令和元年度 メンバー】

(コーチ) 上野利嗣
(Aコーチ) 倉田克典、玉津孝一
小池昌史、黒崎孝夫
(子ども達) 6年生/5人、5年生/5人
4年生/2人、3年生/4人
2年生/1人 計 17人



R1.6.16 北陸近県バスケットボール友好大会 (優勝)

【今年の目標】

初の全国大会に出場することです。そのため、11月に行われる石川県大会でベスト8に残り、来年1月に行われる県選抜大会で優勝することを目指しています。

今年のチームは、県内の他のチームに比べても小柄な体格ですが、ディフェンス・スピード・攻撃のバラエティーの豊富さでは負けていません。5人のコーチからの幅広い指導を受け「妥協しない」練習を日々行っています。今の6年生は、1年生の時からずっと苦楽を共にしてきた以心伝心の5人です。それに負けじと、2・3・4・5年生もスキルアップをして、ヒート全体で切磋琢磨し、成長を続けています。



5・6年生が出場し、能登地区の他チームのコーチや選手と一緒に金沢サムライズと試合をしました。センターコートではライトが眩しく緊張しました。 H31.3.31 七尾総合市民体育館

【練習について】

練習日 月・火・木・金・土

月曜日は、チビバスと称して、ミニバスに入る前のチビっ子達が練習をしています。

低学年や保育園の子ども達が参加し、未来のヒートメンバーも一緒に汗を流しています。



田鶴浜ヒート (ミニバスケットボール男子)

【田鶴浜ミニバスの歴史】

田鶴浜町バスケットボール協会は昭和 48 年に創設されました。その後、ミニバスケットボール教室ができたのは昭和 53 年で、当時の鹿島郡内で初めてのことでした。そして、先の設立の経緯にもあるように、平成 5 年に現在のヒートとなりました。ミニバスを経て、中学、高校と子ども達が成長していくことで、各世代が好成績を残すなど、バスケットボールによる交流が盛んになりました。

その活動が評価され、平成 14 年 10 月に田鶴浜バスケットボール協会が文部科学大臣から社会体育優良団体表彰を受けました。当時を知る、田鶴浜町バスケットボールの礎を築いてくださった多くの方々が、現在、ヒートのコーチ、保護者となり、表舞台はもちろん裏方でもチームを支えています。

【ミニバスの主な功績】

- 平成 9 年 石川県ミニバスケットボール大会(全国大会一次予選)3 位
石川県ミニバスケットボール選抜大会(全国大会最終予選)3 位
- 平成 12 年 北陸電力ふれあいカップ 準優勝
- 平成 14 年 石川ミニバスケットボール大会 優勝
北信越大会 出場
石川県ミニバスケットボール選抜大会 3 位
- 平成 23 年 石川県ミニバスケットボール夏季大会 3 位
- 平成 28 年 第 25 回 北陸電力ふれあいカップ Aブロック 優勝
- 令和 元年 第 28 回 北陸電力ふれあいカップ Bブロック 優勝
第 24 回 長野カップミニバスケットボール交歓大会 優勝



昭和 53 年の創設

NBA で日本人選手の活躍が期待されている令和の時代です。子ども達には、夢は大きく持ってバスケットボールに取り組んで欲しいものです。また、今、コートに立つことができるのは、多くの先輩達のおかげであることを決して忘れてはいけません。田鶴浜体育館という恵まれた環境があることに感謝です。

★田鶴浜ヒート 10ヶ条★

- 1 ゴールを狙えフェイスアップ 2 シュートを入れる 3 うるさく守れハンズアップ
- 4 ヒョウのように走れ 5 攻撃の連続性を狙え 6 ニュートラルボールをはげしく狙え
- 7 簡単なミスが減らせ 8 集中、集中、集中 9 闘争心を燃やせ
- 10 自分を信じろ、仲間を信じろ

昭和から平成、令和へ… 世代を超えて繋がります！



北國新聞に掲載されました(R1/5 月)



H31.3.16 6年生を送る会

田鶴浜スポーツクラブ 20 周年をヒート一同、心からお祝いし、これまで支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。また、この節目に関わることができたことを嬉しく思います。

今後も田鶴浜スポーツクラブ発展のため、指導者、子ども達、保護者で微力ながら尽力させていただきます。

田鶴浜クレーンズ (ミニバスケットボール女子)

【設立の経緯】

1978 年(S53)

田鶴浜ミニバスケットボール教室 開設

1998 年(H10)

女子ミニバス保護者会 発足

2003 年(H15)

第 1 回田鶴浜クレーンズカップ開催

田鶴浜クレーンズミニバスケットボールクラブ
(教室からクラブへ改名)

2010 年(H22)～

田鶴浜クレーンズ(改名)

鹿島郡で初めてミニバスケットボール教室が開設され、小学生のバスケットボールが出来る環境となりました。

これまで指導されてこられた方々やチームの先輩がいたから、今のチームの存続があると思っています。

『地域に感謝！』



第 6 回田鶴浜バスケットボールフェスティバル
平成 17 年 12 月 18 日

【近年・現在の活動】

石川県の主な大会として、北電カップ、夏季大会、全能登大会、県大会、選抜大会に参加しています。

また、各チームが主催するカップ戦にも参加しており、年間約 80 試合を行っています。

その他、「親子バスケット、バーベキュー、6 年生を送る会など、選手、保護者、スタッフ、地域が一体となり、活動しています。

『チームに感謝！』

【主な成績】

石川県大会 準優勝(H22、H26)

北信越大会 出場(H22、H26)

選 抜 大 会 優勝(H26) 3 位(H22)

全 国 大 会 予選リーグ(1 勝 1 敗)(H26)



第 46 回全国ミニバスケットボール大会
平成 27 年 3 月 28～30 日

【今後の活動目標】

現在、NBA 八村塁選手の活躍により日本中からバスケットボールが注目されています。メディアによると「昭和のプロ野球(野球)」 「平成のJリーグ(サッカー)」 「令和の B リーグ(バスケットボール)」と言われています。

今後、益々バスケットボールが盛んになることを期待しています。

今後も、田鶴浜クレーンズは、「楽しく、一生懸命！」をモットーに、子ども達が成長する姿に「元気」と「感動」をもらい、保護者、スタッフなど地域の「仲間」と一緒に「成長」していきたいと思っています。

引き続き、ご声援よろしくお願いします。

『田鶴浜スポーツクラブに感謝！』

『バスケに感謝！』



第 7 回ダンクス杯 優勝
令和元年 6 月 15・16 日

田鶴浜クレーンズ (ミニバスケットボール女子)

【組織 構成人員】

選手【R1. 8.1現在】



6年生	キャプテン:山本 弥音 副キャプテン:内山 美咲、出見世 夏光 吉川 知菜実、和田 妃加、片山 ゆらり、坂下 紗希、津田 七虹、三野 陽菜	9名
5年生	小池 雫月	1名
4年生	浅山 美空	1名
3年生	高橋 実来、松本 結愛、吉村 穂花、原 菜々子、石倉 紗奈、大橋 柚月 松柳 夏帆、野田 幸奈	8名
2年生	内山 翼	1名
		計 20名

保護者会会長 : 山本 麻菜美

監督 : 大橋 哲夫

H コーチ : 中村 吉成

A コーチ : 杉吉 志郎

マネージャー : 内山 美紀

【練習日】

月、水、木、金曜日 17時00分～19時30分

土曜日 9時00分～12時00分

場所 田鶴浜体育館



第24回長野カップミニバスケットボール交歓大会優勝
令和元年8月11・12日

【主な成績】

北陸電力ふれあいカップ	準優勝(H22) 3位(H11)
	ブロック優勝(H26、H27、H29、H31) ※H23～ブロック制
石川県夏季大会	準優勝(H26) 3位(H29)
全能登大会	準優勝(H22、H26、H27、H29)
石川県大会	準優勝(H22、H26)
北信越大会	予選リーグ(1勝1敗)(H22、H26)
選抜大会	優勝(H26) 3位(H22)
全国大会	予選リーグ(1勝1敗)(H26)



第46回全国ミニバスケットボール大会出場
平成27年3月28～30日

田鶴浜ブルーエンジェルス（学童野球）

令和元年度の部員は、6年生は中村悠輔、大橋秀虎、奥田慎之助、金崎晶斗、寺井康太、水野嵩汰の6名、5年生は永田大翔の1名、4年生は天井冬真、新橋遙斗、瀧音琉、西川諒、南出真央、山田倅生の6名、3年生は栗津冨斗、金崎美月、西川聖、山田莉生の4名、2年生は大塚陽登、瀧音蒼の2名、合計19名です。指導者は田村監督、柿島コーチ、栗津コーチの3名で活動をしています。

練習時間は、平日の火曜日から木曜日は17時から19時過ぎまで、土曜日と日曜日、祝日は9時から12時30分頃まで練習をしています。時には石川県内の学童野球チームを中心に練習試合を行っています。また、毎年4月に開催される七尾市学童野球春季大会を始めとした、各大会に向けた強化を行っています。

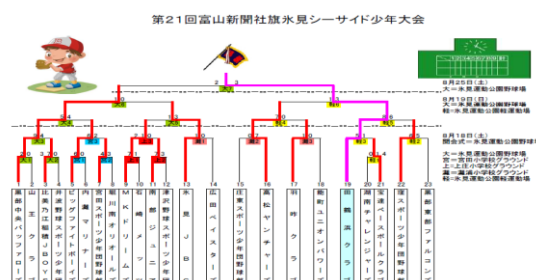
直近の大会実績としては、平成29年9月に行われた第39回七尾市学童野球新人大会にて当時5年生の渡邊晴仁、大塚悠太、瀧野透和、山岸昭太を主力とし、1回戦で有磯クラブに10対2、準決勝で徳田クラブに4対3、決勝戦で石崎メッツ・能登島クラブに8対1で勝利し優勝。同年11月に行われた第10回石川県新人学童野球選手権大会に出場しました。しかし1回戦で野々市支部代表の御園学童野球クラブに4対5で惜しくも敗れました。



平成30年8月に行われた第21回富山新聞社旗水見シーサイド少年大会では、初戦で宝達ベースボールクラブに5対1、準々決勝で窪スポーツ少年団野球部に8対6、準決勝で高松ヤンチャーズに3対1、決勝戦で黒部中央バッファローズに3対2で勝利し、出場23チームの頂点に立ち初優勝を飾りました。

最優秀選手賞は、決勝戦でピッチャーとして、相

手の強力打線を2安打2失点に抑えて完投、打撃では3打数3安打1打点の活躍で大きく勝利に貢献した瀧野透和投手が受賞しました。

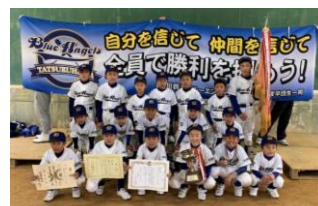


平成31年4月には、チーム名を「学童野球田鶴浜クラブ」から「田鶴浜ブルーエンジェルス」に改名し、新たな歴史を作るべき活動をスタートしました。

「田鶴浜ブルーエンジェルス」とは、現在の部員の保護者が子供の頃に野球をしていた当時のチーム名であり、伝統を引き継ぐ格好でもあります。

そして、初めて「田鶴浜ブルーエンジェルス」として挑んだ、第40回七尾市学童野球春季大会では、1回戦を東湊ベアーズを相手に5対4、準決勝では徳田クラブに8対6、決勝戦では4回終了時には5対8で負けており、このままいけば5回時間切れで敗戦というピンチで5回表の攻撃を迎えました。ベンチ、応援席から「絶対にあきらめな、まだまだこれからや!」という声が飛ぶ中、打席に立った選手たちが集中力を発揮し一挙5点をあげ10対8で逆転、5回裏を相手打者3人で抑え試合終了。全員で掴んだ優勝でした。

今後も、多くの方々に支えて頂き野球ができることへの感謝の気持ちを忘れず、「自分を信じて仲間を信じて全員で勝利を掴もう!」をチームスローガンとして活動していきます。



田鶴浜ブルーエンジェルス (学童野球)

【最近の歴代指導者】

監 督	コーチ
田村 祐二	柿島 大雅、尾田 拓真、栗津 賢栄
大塚 公彰	田村 一義、遠藤 外数、田村 祐二、柿島 大雅、尾田 拓真
水口 勇作	時国 悟、山口 伸哉、赤尾 久
中村 大輔	田村 一義、山口 伸哉、水口 勇作
大塚 公彰	田村 一義、中村 大輔

【最近の卒団者】

年 度	卒団者名
平成 30 年度	主 渡邊 晴仁、大塚 悠太、瀧野 透和、山岸 昭太
平成 29 年度	主 三野 陽翔
平成 28 年度	主 神戸 将伍、神戸 健伍、北野 翔也、永江祐次郎、中村 晃輔
平成 27 年度	主 森田 天斗、中村 諒輔、渡邊 智允
平成 26 年度	主 時国 海斗、岩城 慎冬、尾田 和揮
平成 25 年度	
平成 24 年度	主 輪瀬 健斗、松本 寛太
平成 23 年度	主 川端 健心、北野 裕也、岩城 海星、時国 大和、大野 光樹 道田 皓平、立川 拳悟、松本 亮太、福田 剛大、左近 凱也
平成 22 年度	主 水野 喬汰、卜部 斗真、鶴田 郁也
平成 21 年度	主 山本 拓夢、福井 和貴、三野 皓章
平成 20 年度	主 吉井 優輝、一花 将志、上野 覚弥、圓山 果、田中 翔汰 福田 瑛彦、山口真太郎
平成 19 年度	主 尾田 亮人、岩崎 新、遠藤 陸、加納 将平、河内裕太郎 北山 稜、田中 唯士、出村 友裕、時国 大貴、福岡 大 山本 宙利、吉川 諒
平成 18 年度	主 加納 尽、加納 拓、深山 睦、米田 大志
平成 17 年度	主 石川 将大、内田 翔、内田 涼、遠藤 尚之、尾田 拓真 白瀬 庄誠、田内 孝明、田村 祐二、西住 典将



H31.3.30 ジュニアスポーツクラブ開講式

城山アスリートクラブ(城山AC) (陸上)

【設立の経緯】

「おーい、走りたいもん、集まれや！」

設立時の陸上クラブは、「田鶴浜ジョギングクラブ」としてスタートし、スポーツクラブジュニア部門初代会長の出口良信さんを中心に田鶴浜走ろう会の方々が指導していました。

当時は、ジョギングクラブ会員だけでなく他のクラブに所属している子ども達にも声をかけ、千里浜ちびっこ駅伝や中島万葉マラソンを目標に、田鶴浜体育館周辺や旧役場庁舎周辺を走っていました。

夏休み時には朝のラジオ体操の後に、子ども達に声をかけ走っていました。千里浜ちびっこ駅伝の連続優勝が始まり、他郡市の方々からも「陸上が盛んですね。」と言われるまでになっていきました。

創立7年目の平成17年、クラブ名を「城山AC」と変え、「城山AC五訓」(勝負に勝つ、己に勝つ、限界を自分で決めるな、礼儀は成長につながる、感謝は幸せにつながる)を合言葉に、秋の全国駅伝大会出場・入賞をクラブの最大の目標とするようになりました。もちろん夏の走・跳・投種目で七尾市の代表権を獲得し、県大会・全国大会へと駒を進め、入賞することも大切な目標としました。

城山ACの誕生は、クラブの大きな節目の機会となりました。会員は田鶴浜小学校の子ども達に限らず、指導者や保護者の声かけ等により和倉、高階をはじめ七尾市内の子ども達、そして鹿島、志賀、羽咋、氷見の子ども達も参加するようになり、会員も30名、40名・・・と増えていきました。土曜日の練習場所も城山陸上競技場となりました。また、保護者の意識も大きく変わり、ただ見守り声援を送るだけでなく、子ども達と一緒に走る保護者も出てきたり、練習の補助をしてくれたりするようになりました。クラブ一丸となり県大会出場・優勝、全国大会出場・入賞を目指すようになりました。指導者として正式に保護者も加わるようになり、保護者会も誕生しました。

【現在の様子とこれまでの成績】

保護者ランナーも増え、指導・支援体制が充実し、学年・能力に応じたグループ練習を行っています。しかも甘えを見逃さない厳しい練習環境が整い、子ども達も切磋琢磨しながら高い意識を持って練習に取り組んでいます。城山AC結成14年間で全国大会駅伝に9回出場、県内の長距離走大会で活躍する子ども達がたくさんいます。もちろん千里浜ちびっこ駅伝、いしかわっ子駅伝の主要メンバーとして、卒業後は中学校駅伝メンバーとして大活躍をしてくれています。



【今後の活動目標】

児童数の減少、学年構成の偏り、会員の広域化、生活スタイルの多様化に伴い、スポーツに臨む意識の変化が見られます。土曜日だけ、平日だけの練習参加という子ども達も増えていきます。純粋に「かけっこが好き。」「速くなりたい。」「友達と楽しく練習したい。」という気持ちを大切にしたい指導にも指導者の意識改革が求められてきているのも確かです。これまで通り全国大会出場を最大の目標としつつも、走・跳・投バランスのとれた選手育成、子ども達の意欲と笑顔が溢れた魅力あるクラブ運営を模索していかなければと考えています。

また、指導者・保護者の経年の願いとして、OBの中から世界で活躍する選手、オリンピック選手、箱根駅伝を走る選手、そして、地元に戻り、本クラブの指導者となってくれるOBが出てくれることを切に願っています。

城山アスリートクラブ(城山AC) (陸上)

【主な成績】

● 日清食品カップ 全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 (秋季・冬季大会)

会 場：万博記念公園特設コース（大阪府）1周 1500m

チーム：6名1チーム（男女混合） 1・3・5 走は女子 2・4・6 走は男子

交替選手は友好タイムトライアル出場

出場回数	年度大会	順位 タイム	選 手 氏 名 ・ 学 年			
8	H30 21 回	1 8 位 32' 51"	津田 万里 6	川上 宇宙 6	柴田孝志郎 6	豊島 颯斗 5
			中村 莉望 6	前濱 来瞳 6	倉島 妃鞠 6	竹田ほたる 6
7	H29 20 回	9 位 31' 39"	野崎健太郎 6	新野 琉壺 6	宮本 祥吾 6	白井 新大 6
			西住 萌 6	垣田 奏 6	杉原 陽色 6	袋井 海羽 6
6	H28 19 回	2 4 位 32' 45"	松野 陸 6	盛本 玲央 6	宮本 祥吾 5	新野 琉壺 5
			垣田 愛 6	新野 莉璃 6	西住 早織 6	西住 萌 5
5	H24 15 回	3 1 位 32' 59"	町 棧吾 6	森 諒人 6	石田 拓巳 6	中田 真也 6
			前濱明日香 6	佐古田宇音 6	佐藤 彩菜 6	根布谷 和 6
4	H23 14 回	2 5 位 33' 35"	山本 嵐 6	辻口 隼人 6	宮島 大樹 6	森 諒人 5
			吉田 優海 6	山口 早紀 6	湊 杏菜 6	佐古田宇音 5
	H22 13 回	東日本大震災 のため中止	三浦 創太 6	道下 新太 6	山本 嵐 5	宮島 大樹 5
			戸部 千晶 6	小林 葵 6	吉田 優海 5	湊 杏菜 5
3	H21 12 回	2 9 位 34' 03"	吉田 大海 6	林 侑平 6	道下 新太 5	三浦 創太 5
			川原えみり 6	戸部 千晶 5	小林 葵 5	臼池 優月 5
2	H18 9 回	2 3 位 35' 02"	北川 航哉 6	出村 隆能 6	谷内 和吉 6	岡 雄大 5
			広瀬 亜美 6	三浦 夏希 6	湊 梨穂 6	袋井 桃花 6
1	H17 8 回	1 1 位 32' 57"	福井 清和 6	内田 涼 6	赤島 一平 6	内田 翔 6
			山口 麻子 6	道下 歩美 6	広瀬 亜美 5	三浦 夏希 5

※ 第1回～第7回大会は県選抜チームが出場、第8回大会以降は県予選会優勝クラブチームが出場

※ 第7回大会 円山 正和 6 福井 清和 5 出場

※ 第6回大会 山口 裕一 6 吉村 幹 6 出場 7位入賞

● 日清食品カップ 全国小学生陸上競技交流大会 (夏季大会)

会 場：国立競技場（東京都）・日産スタジアム（横浜市）

年度	選 手	種 目
H28	垣田 愛 6	女子 80mハードル
	袋井 杏花 6	女子走高跳
H24	佐古田宇音 6	女子 80mハードル
H16	臼池 晴奈 6	女子 80mハードル 決勝 8 位入賞 予選 13"49 県小学新
H15	平山 茜 6	6 年女子 100m
	東田愛里沙 6	女子 80mハードル
H 9	上島 宏之 5	5 年男子 100m 決勝 8 位入賞

相馬・田鶴浜バドミントンクラブ

【設立の経緯】

昭和 53 年 4 月 相馬クラブ設立

設立者 平野 武志

旧相馬小学校の体育館に空きがあるという話から「俺がやる」と平野武志氏の一言で設立することとなる。

弟である貢氏が、いつしか引き継ぐ形となり現在に至る。



第1期生

平成 16 年4月に相馬小学校も閉校となり、田鶴浜地区のメンバーも増えてきたこともあり、「相馬・田鶴浜ジュニアバドミントンクラブ」に改名する。

【近年・現在の活動】

指導者 2 名 部員 22 名

週 3 回の練習をし、市内・県内の試合に参加し練習の成果を発揮している。

今年度のチーム目標は「一人一人が目標をもって練習し、あきらめずに1本でも多く打つ」、試合では「上位を目指して頑張る」を掲げ取り組んでいる。



【組織 構成人員】

監督 平野貢 コーチ 酒井かおり

部員 22 名(男 4 名、女 18 名)

保護者会 会長 1 名 会計 2 名 書記 1 名



私たち指導者の願いは、子ども達にバドミントンの楽しさを知ってもらい、バドミントンが好きになってほしいということです。

そして、試合に勝つ喜びや負ける悔しさを経験することで、そこから一回りも二回りも成長していったら・・・と願いながら日々指導にあたっています。

【近年の全国大会出場】

全国小学生バドミントン選手権大会 出場

平成 25 年 保科三史郎・伊藤 亘哉

平成 26 年 伊藤 亘哉

平成 27 年 ト部 瑛和

全国 ABC バドミントン大会 出場

平成 24 年 伊藤 亘哉

平成 26 年 伊藤 亘哉

平成 28 年 楠 優太

FC 七尾ウエスト (サッカー)

【組織 構成人員】

FC 七尾ウエストは、平成 21 年に田鶴浜サッカー学校として設立しました。その後、子ども達が練習だけでなく試合もしたいということでお隣の中島サッカークラブジュニアさんと試合で交流活動をする事になりました。そして、平成 28 年に田鶴浜サッカー学校と中島サッカークラブジュニアがひとつになり、新たに「FC 七尾ウエスト」として活動することになりました。

現在、スタッフは 7 名、選手は 40 名程度になります。



【主な大会・活動】

平成 27 年から田鶴浜スポーツクラブ主催で「NANAO BAYSIDE CUP U-12」を開催しており、この大会では、元アトランタオリンピックサッカー日本代表の遠藤彰弘氏を毎年招いて、七尾市内だけでなく県内外の 16 チームの子ども達のためにクリニックも開催しています。



遠藤彰弘氏のクリニック



チームとしては「止める、蹴る、考えて走る」の考えを軸に「みんながプレーしていて楽しい、みんなが観ていて楽しいサッカー」を目指しています。そして、いつか七尾からプロサッカー選手が出てほしいと願っております。まだ、チームとしては設立間もないですが、田鶴浜の児童の為、七尾の児童の為に活動していきます。田鶴浜スポーツクラブの中には野球やバスケットボールなど歴史があるスポーツ、チームがありますが、勉強させて頂き、お互いに切磋琢磨できればと思っています。

【主な成績】

＜H27 年＞

- ・第 1 回 7 FIELDS CUP 優勝
(現 NANAO BAYSIDE CUP)



＜R1年＞

- ・第 5 回 JCカップ U-11 少年少女サッカー
北信越地区 石川県大会 優勝
北信越大会 準優勝



七尾中学校陸上部（長距離）

【設立の経緯】

スポーツクラブ発足当時は、田鶴浜中学生全員がスポーツクラブに所属しながら部活動を頑張っていました。

駅伝が盛んな地域性もあり、各部より選抜のチームを結成し、平成6年と9年で全国大会出場するなど、学校全体と地域の「走ろう会」メンバーが連携して実績をあげていました。

その後、小学校のジュニアクラブの充実と共に、保護者の一部に「中学校に陸上部」との要望も出てきましたが、既存の「文芸部」に所属し、帰宅後にスポーツクラブの陸上部員として、駅伝などで全国を目指すことになりました。

もともと中学校でも、個々に外部指導者と連携して成果をあげましたが、総合型地域スポーツクラブ所属ならではの、小学校・中学校の一貫指導、そして保護者会との連携などが充実してきて、徐々に「長距離の田鶴浜」と認知される様になってきました。

平成29年に田鶴浜・御祓・朝日中学校統合による「七尾中学校」開校の際に陸上部復活となり、駅伝を中心とした長距離部門が、今まで通り田鶴浜スポーツクラブに所属し、日和ヶ丘グラウンドで活動することとなりました。

【近年・現在の活動】

400mトラック、グラウンド外周クロカンコース、日和ヶ丘クロカンコース、周回道路コース、そして体育館と恵まれた環境の中「目指せ全国制覇!!」を旗印に練習を積んでいます。

現在まで、男女で10回の全国中学校駅伝出場をはじめ、全中陸上での入賞やジュニアオリンピックでの活躍があります。

特に最近では、平成26年の全国中学校駅伝で男子が8位入賞、平成30年の女子駅伝3位入賞、同じく平成31年女子が全国クロカンで準優勝と素晴らしい成績をあげています。

保護者に感謝、仲間達に感謝、指導者に感謝、そしてグラウンドに感謝。

「全国制覇」へ向けて、人間力も大きく成長しています。



【今後の活動目標】

今、県内では長距離が敬遠され、競技人口が減少しています。専門的に偏らず、色んなスポーツを楽しむ中で、長距離も楽しんで欲しい。

地域のスポーツクラブと学校が、より一層連携を密にしながら、保護者が運営等に積極的に関与・責任を持つ「田鶴浜らしいスポーツクラブ」を今後も継続していきたい。

駅伝練習を通して「我慢する・継続する・集中する」ことを学び、その延長線上に箱根駅伝やオリンピックが見えてくると考えています。



七尾中学校陸上部 (長距離)

【組織 構成人員】

七尾中学校陸上部(長距離) 21名(男子10名 女子11名)

【主な成績】

◎県中学校陸上大会(優勝のみ)

H 9	1500m	津田 春樹	4' 20" 40	
H10	800m	福田 章人	2' 07" 77	
H13	1500m	福田 隼也	4' 10" 34 (大会新)	3000m 9' 03" 42
H18	3000m	山口 裕一	8' 58" 46 (大会新)	
H20	1500m	福井 清和	4' 08" 06 (大会新)	3000m 8' 54" 32 2位(大会新)
H25	3000mW	宮島 大樹	15' 25" 54	
H26	3000mW	前畑 隆成	15' 02" 82	
H27	3000mW	前畑 隆成	14' 12" 94	3000mW 和田 歩美 14' 59" 62
H28	800m	佐竹 翔	2' 05" 78	
H29	3000mW	西本 光佑	14' 30" 52	
H30	1500m	川森 結翔	4' 15" 30	3000mW 西住 早織 15' 36" 28
R 元	1500m	野崎健太郎	4' 14" 54	3000mW 西住 早織 15' 15" 49
	800m	垣田 愛	2' 19" 84 (予選 2' 15" 06 全中標準)	
	1500m	示野 悠奈	4' 43" 22	



◎県中学校通信陸上大会(優勝のみ)

H 8	1年 1500m	津田 輝	4' 39" 11	
H 9	800m	津田 春樹	2' 02" 27	1500m 4' 19" 97
H11	1年 1500m	福田 隼也	4' 31" 38	
H13	1500m	福田 隼也	4' 11" 44	3000m 9' 06" 78
H17	1年 1500m	円山 正和	4' 49" 44	
H18	1500m	山口 裕一	4' 10" 21 (全中標準)	3000m 9' 00" 92 (全中標準)
	1年 1500m	福井 清和	4' 38" 75	
	走幅跳	平山 茜	5m25	
H20	800m	福井 清和	2' 00" 58 (全中標準)	
H26	1500m	山本 嵐	4' 14" 66	
	3000m	町 棧吾	9' 00" 55	
H28	1年 1500m	小山 涼介	4' 30" 29	
H30	1年 1500m	野崎健太郎	4' 23" 16 (大会新)	
R 元	800m	垣田 愛	2' 17" 24	
	1500m	野崎健太郎	4' 09" 99	
	1500m	示野 悠奈	4' 41" 88	



七尾中学校陸上部 (長距離)

◎全国中学校陸上大会

H13	1500m	福田 隼也	4' 13" 62	13 位(予選 4' 04" 71 県中学新)
H17	1500m	山口 裕一	4' 24" 48	予選
H18	3000m	山口 裕一	8' 47" 67	7 位
H19	100mH	臼池 晴奈	15" 41	予選
H20	1500m	福井 清和	4' 05" 52	6 位(予選 4' 04" 23 県中学新)
H25	800m	山本 嵐	2' 01" 59	予選
R 元	800m	垣田 愛	2' 26" 78	予選

◎ジュニアオリンピック陸上大会

H13	男 A3000m	福田 隼也	8' 36" 34	(県中学新) 6 位(予選 8' 37" 83 県中学新)
H18	男 A3000m	山口 裕一	8' 56" 93	16 位(予選 8' 46" 62 6 位)
H19	男 B1500m	福井 清和	4' 11" 72	予選 5 位
H20	男 A800m	福井 清和	1' 59" 29	準決勝 3 位
H24	男 C1500m	山本 嵐	4' 32" 09	予選 9 位
	女 C800m	山口 早紀	2' 22" 07	準決勝 8 位
H25	男 B1500m	山本 嵐	4' 18" 86	予選 8 位
H27	女 C800m	町 優花	2' 25" 28	予選 5 位
H28	男 C1500m	小山 涼介	4' 25" 80	予選 8 位
H29	女 C800m	垣田 愛	2' 19" 26	準決勝 4 位
	女 A3000m	町 優花	10' 10" 32	予選 17 位
H30	男 C1500m	松野 陸	4' 31" 07	予選 20 位
		野崎健太朗	4' 14" 42	10 位
	女 A3000m	吉田 七渚	10' 17" 00	
	女 B1500m	新野 莉璃	4' 45" 15	予選 9 位



◎全国中学校駅伝大会成績

H 6	36 位(寺井敏貴 3 森田 全 3 伊藤洋平 3 渡辺忠剛 3 西村彰範 2 小賀伸一 3)
H 9	22 位(津田春樹 3 津田 輝 2 杉藤吉朗 3 福田章人 2 杉森悠一 3 寺井雅哉 3)
H17	38 位(山口裕一 2 藤沢貴仁 2 菊川祐貴 2 大橋 翼 2 円山正和 1 一花 建 3)
H18	38 位(山口裕一 3 藤沢貴仁 3 大橋 翼 3 大場達也 3 前田宗一郎 2 菊川祐貴 3)
H24	39 位(佐藤彩羅 3 山口早紀 1 藤井美裕 1 森田綾李 2 高本瑞季 3)
H26	8 位(山本 嵐 3 町 棧吾 2 辻口隼人 3 川端健心 3 森 諒人 2 佐竹大輝 3)
H27	43 位(森 諒人 3 町 棧吾 3 船山拓真 3 赤坂優人 2 中村将来 1 佐竹 翔 2)
H28	32 位(佐竹 翔 3 赤坂優人 3 山本謙利 2 中村将来 2 小山涼介 1 袋井翔太郎 2)
H29	21 位(山本謙利 3 中村将来 3 西本光佑 3 川森結翔 2 赤坂温人 3 松江剛琉 3)
H30	3 位(示野悠奈 2 吉田七渚 3 垣田 愛 2 前濱咲良 3 新野莉璃 2)

七尾ソフトテニスクラブ 女子

【設立の経緯】

私たちソフトテニスクラブ女子は、昨年までは男子と合同で練習を行っていましたが、今年度から女子として独立しました。

メンバーは、七尾中学校女子ソフトテニス部の希望者で、現在2年生8名・1年生7名。部活動以外に週2回、クラブ練習として取り組んでいます。

練習場所は、七尾中学校または田鶴浜テニスコート、冬季は田鶴浜体育館とたいへん恵まれています。



【近年・現在の活動】

練習テーマは「真剣味」で、練習課題を自分たちで探し出し、練習方法も自分たちで工夫していきます。

仲間と共に練習する中で技術を高め、真面目に取り組む姿勢を育てることと、勉強との両立を目的に頑張ります。



【今後の活動目標】

今後、仲間を増やすこと、特に女子ジュニアの募集に力をいれ、活動が長く続くよう努力していきます。



練習環境を準備してくださる田鶴浜スポーツクラブ関係者、送迎・応援をしてくれる保護者の方々に感謝しています。

ありがとうございました。

七尾ソフトテニスクラブ 男子

【設立の経緯】

七尾ソフトテニスクラブは、朝日、御祓、田鶴浜中学校の合併により誕生した、七尾中学校を中心として構成され、平成 30 年度より田鶴浜スポーツクラブに仲間入りしました。前身となる 3 中学校では、全日本中学選手権優勝など輝かしい実績があり、多くの優秀な選手が育った中学校の延長線で、新しい歴史を刻み始めた新チームです。

昨今の「教員働き方改革」に合わせ短縮される部活動時間の不足を補うため、七尾市ソフトテニス協会との合同練習。また、田鶴浜ジュニアソフトテニスとの合同練習も行い、学校内では経験できない様々な年齢層のプレイヤーと接する機会を通して、大人になる過程に必要な人間関係の構築も視野にしています。七尾市内のソフトテニス愛好家全体を巻き込み、更なる飛躍を目指して「一致団結」の合言葉で活動を行っています。



第 40 回北信越中学校総合競技大会

【近年・現在の活動】

最新鋭のコートを備えた七尾中学校を中心に活動を実施していますが、屋外競技の弱点である冬季、雨天には田鶴浜体育館を利用させて頂き、練習が途切れる事がない最高の環境を準備して頂き練習に励んでいます。

そういった、学校の門を離れての練習機会の中で、ジュニアチームとの合同練習や、施設の清掃活動などを通じて「根っこ」の部分が成長す

ることで、更に奥行きのあるプレイになると期待しています。



練習風景(田鶴浜テニスコート)



清掃活動への参加



練習と経験から繰り出される一瞬のプレイ

【今後の活動目標】

まずは令和元年度の北信越大会を突破し、全国中学校選手権大会への出場を目指します。

これからも、田鶴浜スポーツクラブの一員として、部活動時間だけでは経験できない様々な経験を積ませ、勝利への拘りを捨てることなく「切磋琢磨」することから、人としての根本を磨き上げる活動を進めたいと考えています。

七尾ソフトテニスクラブ 男子

【組織 構成人員】

主に七尾中学校を中心として、七尾市内中学生の希望者
指導者は、七尾市ソフトテニス協会からの協力を得て、7名体制にて実施

【主な成績】

平成 29 年度 全能登中学校新人ソフトテニス大会
第 35 回石川県中学校ソフトテニス選手権大会

男子団体 3 位
男子団体 2 位
男子個人 3 位 畠山・出村

平成 30 年度 全能登中学校新人ソフトテニス大会

男子団体 3 位
男子個人 3 位 畠山・出村

平成 30 年度 石川県中体連ソフトテニス団体強化練習会

男子団体 2 位

平成 30 年度 北信越中体連ソフトテニス団体強化練習会

男子団体 2 位

第 33 回カワサキ・ルーセント杯争奪東日本ジュニア選抜ソフトテニス研修大会

男子団体 3 位

平成 30 年度 石川県中学選抜インドアソフトテニス大会

男子団体 3 位

令和元年度全能登中学校ソフトテニス大会

男子団体 3 位

第 69 回石川県中学校ソフトテニス大会

男子団体 3 位

男子個人 2 位 石川・出村

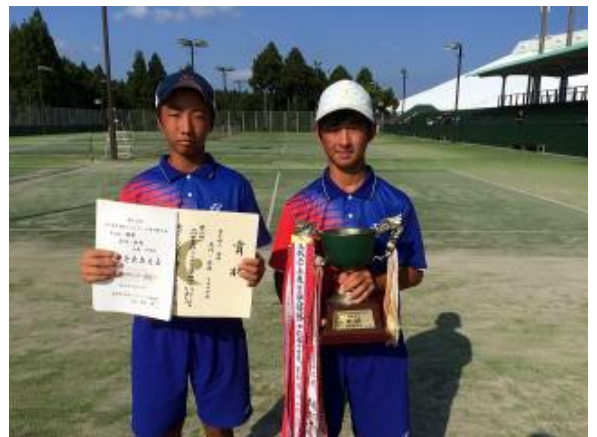
第 36 回石川県中学校ソフトテニス選手権大会

男子団体 3 位

男子個人優勝 石川・出村



第 69 回石川県中学校ソフトテニス大会
七尾中学校として
北信越大会に初出場の団体メンバー



第 36 回石川県中学校ソフトテニス選手権大会
七尾中学校として
個人初タイトルの石川・出村ペア

七尾中学校女子バスケットボール部

七尾中学校は、平成 29 年に、田鶴浜・御祓・朝日中学校の 3 校が統合し、4 月から七尾中学校女子バスケットボール部として、田鶴浜から 13 名、御祓から 5 名の 18 人のメンバーでスタートしました。

【平成 29 年度】

石川県大会 **優勝** H29.7.16・17

いしかわ総合スポーツセンター

一回戦 七尾中 51-30 額中
二回戦 七尾中 59-18 北星中
準決勝 七尾中 52-51 浅野川中
決 勝 七尾中 63-34 錦城中

北信越大会 **優勝** H29.8.3・4

伊那市民体育館(長野県)

一回戦 七尾中 66-43 野沢中(長野)
二回戦 七尾中 46-33 鯖江中(福井)
準決勝 七尾中 57-42 伊那東部中(長野)
決 勝 七尾中 60-28 浅野川中(石川)



全国中学校大会 **ベスト 16** H29.8.22～25

那覇市民体育館(沖縄県)

予選リーグ

七尾中 45-35 大曲中(秋田)
七尾中 83-63 古田中(広島)

決勝トーナメント

一回戦 七尾中 45-48 陽南中(栃木)



忘れられない沖縄の夏

【平成 30 年度】

石川県大会 **優勝** H30.7.15・16

輪島中学校体育館

一回戦 七尾中 49-26 芦城中
二回戦 七尾中 51-49 布水中
準決勝 七尾中 52-42 浅野川中
決 勝 七尾中 65-39 輪島中

北信越大会 **ベスト 8** H30.8.7・8

輪島市(石川県)

一回戦 七尾中 43-41 箕輪中(長野)
二回戦 七尾中 61-72 清心女子中(新潟)

【令和元年度】

石川県大会 **3位** R1.7.14・15

津幡運動公園体育館

一回戦 七尾中 61-41 能都中
二回戦 七尾中 78-58 野田中
準決勝 七尾中 45-63 浅野川中
代表決定戦

七尾中 50-45 津幡中

北信越大会 R1.8.7～8

長岡市市民体育館(新潟)

一回戦 七尾中 49-54 奥田中(富山)



【今後の活動目標】

「状況判断して行動する選手」、「自主的に行動する選手」、「コート内外でも気づく選手」をベースにしての人づくり、誰からも応援してくれるチームづくりを目指し、もう一度全中出場を目標に頑張ります。

七尾ジュニア男子バスケットボールクラブ

【設立の経緯】

自分たちの1年先輩が、平成30年度第48回全国中学校バスケットボール大会に北信越大会準優勝で出場という輝かしい実績を残しました。その誇りを受け継ぐために、七尾中学校の部活以外でも練習できる環境を、さらにバスケットの強豪七尾の伝統を守り伝えることを目的に、ジュニアバスケットボールクラブが設立されました。



【近年・現在の活動】

(令和元年度)

第71回 能登地区中学校
バスケットボール大会 準優勝

第72回 石川県中学校バスケットボール大会
第3位(北信越大会出場)



第40回 北信越中学総合競技大会 ベスト8



【今後の活動目標】

設立して半年ほどですが、今後より一層の努力と精進を、また次世代にも伝えていけるような環境づくりに努め、今後、より活気あるクラブを目指します。



【組織 構成人員】

指導者 1名、クラブ員 14名



令和元年5月12日撮影

田鶴浜バスケットボールクラブ (一 般)

【団体構成員】

上野利嗣、大橋哲夫、杉藤敏信、中村吉成
杉吉志郎、倉田克典、南出千恵、小池 まり
田中永一、堀田秀幸、蔵裕一郎、瀧音 亮
遠藤祐介、大橋昂平、石川洋平、鶴田直樹
原 頼子、安井英司、安達将大
坂口美由紀、本田颯一郎

【設立の経緯】

田鶴浜バスケットボールクラブは 1972 年に設立されました。2022 年には 50 周年を迎えます。田鶴浜のバスケットボールの発展の為、活動しています。現在は田鶴浜体育館にて火、木、土曜日の週 3 日、バスケットボールを通じて世代の壁をこえて汗を流し、技術・体力の向上に励んでいます。



毎年 7 月には、現在 Bリーグの千葉ジェッツのアシスタントコーチを務める金田詳徳氏らを招き、田鶴浜の小・中学生を対象にバスケットボールのクリニックを行う「K-camp」を開催しています。当キャンプも今年で 15 周年を迎えました。このクリニックを通して、小・中学生のバスケットボールスキル向上の一助となり、最近では全国大会や北信越大会出場、県リーグ戦での上位入賞等の知らせを聞くことができ大変嬉しく思っております。5 年・10 年先を見据え、田鶴浜のバスケットボールの発展のため努力していきたいと思っています。

活動実績(平成 11 年～)

平成 16 年度石川県クラブバスケットボール春季大会 3 位
平成 17 年度石川県クラブバスケットボール春季大会 準優勝
平成 17 年度石川県バスケットボールリーグ戦 2 部 1 位
平成 19 年度石川県バスケットボールリーグ戦 2 部 3 位
平成 22 年度石川県バスケットボールリーグ戦 2 部 1 位
平成 23 年度石川県バスケットボールリーグ戦 1 部 2 位
平成 24 年度石川県バスケットボールリーグ戦 1 部 3 位



個 人 賞

平成 17 年度石川県バスケットボールリーグ戦 2 部 最優秀選手賞 杉吉志郎
平成 22 年度石川県バスケットボールリーグ戦 2 部 敢闘賞 杉江健太
平成 23 年度石川県バスケットボールリーグ戦 1 部 敢闘賞 川端鉄兵

平成 17 年度石川県バスケットボールリーグ戦	2 部	得点王	永田隆一	通算	123 点
平成 22 年度石川県バスケットボールリーグ戦	2 部	得点王	袋井健吾	通算	116 点
平成 23 年度石川県バスケットボールリーグ戦	1 部	得点王	袋井健吾	通算	137 点
平成 24 年度石川県バスケットボールリーグ戦	1 部	得点王	袋井健吾	通算	131 点
平成 25 年度石川県バスケットボールリーグ戦	1 部	得点王	袋井健吾	通算	224 点
平成 28 年度石川県バスケットボールリーグ戦	1 部	得点王	袋井健吾	平均	28.4 点
平成 30 年度石川県バスケットボールリーグ戦	2 部	得点王	堀田秀幸	平均	24.5 点

チームアサヒ

【設立の経緯】

アサヒランドリー(株)の社員数人で立ち上げた当クラブですが、現在は社員以外のメンバーも増えて毎週 10 人以上集まるようになりました。

【練習日】

「楽しく汗を流す」をモットーに毎週月曜日約 2 時間バスケットボールをしています。



【活動内容】

試合にも出場してみたり、BBQ もしてみたり、幅広いメンバーですが仲良く交流しています。



【今後の活動目標】

週1回体を動かしていることもあってか、30 代、40 代の方々は 5～10 歳は若いと言われることも多々あり、アンチエイジング効果のあるクラブだと個人的に思いながら練習に取り組んでいます。

【構成メンバー】

メンバーは、10 代～40 代の男女混合チームで、初心者から中級者まで幅広く在籍しています。



リチャリー (バドミントン 小学生から一般)



このクラブは、一般から小学生まで幅ひろい年齢層の人がバドミントンを楽しんでいるクラブです。

「リチャリー」とはなに？

どういう意味？

「Rijchary」ケチュア語で

「目覚めさせる」という意味です。

【設立の経緯】

このクラブの発端は、高校生が学校の部活動で不足している練習時間を補足するために始めたのがきっかけです。体育館の空いている時間を見つけては1コート借りて、3人から始めました。



【現在の活動】

今は、田鶴浜在住の人から他の地区の人も含めて、楽しく練習をしています。チームとして試合に出ることはありませんが、一般から中学生や小学生など、練習したい人が来て楽しくバドミントンをし、また中学生や小学生の試合があるときは練習相手になったりもしています。



現在、東京オリンピックを前に男子シングルの桃田賢斗選手や女子シングルの山口茜選手、女子ダブルス永原和可菜・松本麻佑選手などたくさんの選手が世界ランク上位にいます。



目標にしたい選手がたくさんいることで、小学生や中学生でバドミントンをやってみたいという子どもが増えて、マイナーなイメージが強かったバドミントンをもっと楽しむ人が増えてくれることを願っています。



田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会

【設立の経緯】

石川県教育委員会では、1986 年(昭和 61 年)ニュースポーツの普及にグラウンドゴルフを取り上げ、第 1 回の健民祭グラウンドゴルフ大会を開催した。

これが、大きな反響を呼び「いつでも どこでも 誰でも」のキャッチフレーズのもと、グラウンドゴルフが急速に県下に普及拡大してきました。

田鶴浜町では、平成 7 年に、グラウンドゴルフが生涯スポーツと位置付けされ 150 名で田鶴浜グラウンドゴルフ協会が設立し、初代会長に永井与平氏、また理事長に谷口 要氏を選出した。

当時、スポーツへの熱意が高く、平成 11 年の 3 月に多目的グラウンドが完成し、さらに 10 月に田鶴浜スポーツクラブが設立され、当会も加入した。

協会としては、平成 10 年、11 年と、杉森 繁会長のもと会員数が 147 名で全盛時代を迎え、鹿島郡体育大会では、女子が団体 2 位と健闘。

その後、平成 16 年 10 月、1 市 3 町体育協会合併記念大会が、能登島にて開催された。そして平成 17 年 1 月、七尾市グラウンドゴルフ協会が設立後、直ちに総会を開き、名称を田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会と変更し、現在に至る。



鶴の里落成記念大会

【活動内容】

年間行事として、4 月から 11 月まで各月例会とロフティー杯、並びに鶴の里落成記念大会を行っております。



平成 30 年スポーツ体験「のびのびクラブ」へ、町の先生として指導者を派遣し、小学生と共にグラウンドゴルフを楽しんでいます。



のびのびクラブ:雨天時は体育館2Fで

今後、高齢化が益々進み、また、若い人の入会が少なく先行きが心配です。車の運転が出来なくなっても、行政の力添えで、バスで多目的広場まで、足を運べるようになればと思います。



R 1.9.11 集合写真 (鶴の里)

田鶴浜ゲートボール愛好会

【全国大会等の成績】

全国健康福祉祭(ねんりんピック)

平成 11 年から平成 30 年までの 19 年間で、8 回県代表として出場し、5 大会で決勝トーナメントへ進出したほか、平成 28 年の長崎大会では、3 位入賞しました。

平成 21 年はゲートボール発祥の地、北海道で七尾と加賀が勝ち上がり、雨にも関わらず健闘したことは今でも忘れられません。

平成 22 年の大会は石川で開催され、全選手団の旗手を木戸光紀氏が務めるなど、選手として、また、大会運営者としても大会に関わらせていただきました。

令和元年は、和歌山大会に出場します。



全国選抜大会

平成 12 年に岩手大会に女子が出場し、平成 22 年の長野大会ではシニアクラスで男女が、共に決勝トーナメントに進出、男子はベスト 16、女子ベスト 8 でした。

令和元年、女子が 9 年ぶりに新潟大会に出場しました。



全国世代交流大会

平成 20 年から令和元年まで、松元ファミリーが連続出場をしています。

石川県大会

平成 11 年の石川県選手権大会は、シニアクラス女子優勝、ミドルクラス男子 3 位。平成 21 はシニアクラス男子・女子が優勝、ミドルクラスで男子が 3 位となり総合優勝を果たしました。平成 30 年には女子が優勝しました。

石川県県民体育大会

壮年男子が 4 回の優勝をしています。



【今後の活動目標】

田鶴浜ゲートボール愛好会は、諸先輩が華々しい活躍をしてきましたが、今では少人数になり、親善大会に出場するのがやっとです。

しかし、平成 29 年度からスポーツクラブ主催のスポーツ体験「のびのびクラブ」の児童と月 2 回、触れ合うことが非常に楽しみであり、また、底辺拡大につながれば・・・と考えています。

田鶴浜の児童たちの学童野球・ミニバス・駅伝・バドミントン等での活躍が素晴らしく、本当に嬉しく思います。子どもたちの活躍に刺激を受けて、私たちも今一度盛り上がるよう頑張ります。

「わずかな時間(30 分)で楽しいゲーム」を、キャッチフレーズに皆さんをお待ちしています。

是非、田鶴浜室内ゲートボール場へ！

ご来場をお待ちしています。

田鶴浜ゲートボール愛好会

組織 構成人員

平成11年会員数 62 人、令和元年会員数 13 人

主な成績

【ねんりんピック】

(平成11年) 福井大会 (平成12年) 大阪大会
 (平成17年) 福岡大会 (平成18年) 静岡大会
 (平成21年) 北海道大会 決勝トーナメント進出
 (平成24年) 宮城大会 (平成25年) 高知大会
 (平成28年) 長崎大会 3位 (令和元年) 和歌山大会

【全国選抜大会】

(平成22年) 男女アベック 決勝トーナメント進出 女子8位入賞

【市・県・国等の功労者表彰】

日本ゲートボール連合功労者表彰

(H24 年) 日下登喜雄 (H26 年) 高村 政藤

日本ゲートボール連合健康功労者表彰

(H13 年) 松井 竜太 (H14 年) 永田 展夫 (H16 年) 山元 典子
 (H24 年) 柘植 淑子 (H26 年) 木戸 光紀

日本ゲートボール連合審判功労者表彰

(H14 年) 永田キクイ (H15 年) 柘植 淑子 (H16 年) 高村 政藤
 (H17 年) 坂井 昌行 (H19 年) 清酒 芳子 (H21 年) 滝中 昌之

石川県ゲートボール協会功労者表彰

(H13 年) 山口 勇市 (H14 年) 出村喜久松 (H15 年) 日下登喜雄
 (H15 年) 坂井 昌行 (H16 年) 永田キクイ (H16 年) 小林すみ子
 (H17 年) 木戸 光紀 (H17 年) 清酒 芳子 (H18 年) 吉村 武二
 (H21 年) 船山加志久 (H22 年) 吉川 昇 (H23 年) 山田 久野
 (H23 年) 山辺 富子 (H25 年) 淀見 吉則 (H26 年) 飛田とよ子
 (H26 年) 滝中きみ子 (H26 年) 谷口 久恵 (H29 年) 的場ふく子
 (H30 年) 松元 町子

石川県健民運動推進本部長表彰

(H26 年) 高村 政藤

いしかわ生涯スポーツ功労者表彰

(H30 年) 高村 政藤

石川県体育協会功労者表彰

(H17 年) 日下登喜雄 (H19 年) 山元 典子
 (H21 年) 坂井 昌行 (H24 年) 高村 政藤



(H28 年) 柘植 淑子

弓道協会田鶴浜支部

【設立の経緯】

平成 16 年 10 月に旧七尾市、田鶴浜町、能登島町、中島町の一市三町が合併し、それに合わせて七尾市弓道協会が新たに設立されました。そこで、弓道場が 3 館(七尾、能登島、田鶴浜)あることから 3 支部制を採用して活動を開始しました。

弓道協会田鶴浜支部はここからが歴史の始まりで、支部長が山口 修氏で七尾市弓道協会の副会長を兼任していました。

七尾市弓道協会では理事が加富信行氏、監事が吉川達則氏、事務局長が小浦忠吉氏でした。

平成 29 年 4 月から支部長が小浦氏となり、七尾市弓道協会では副会長に就任しましたが、平成 30 年 4 月に事務局長不在となり、再び小浦氏が事務局長を引き受けることになりました。

【現在の活動】

田鶴浜支部としての単独活動はなく、すべて七尾市弓道協会で活動しています。県内の様々な大会に出場するときは、七尾市 A・B といったチームを編成して出場しているため、支部としての成績はありません。

七尾市弓道協会の主な行事は、月 1 回の月例射会、6 月には県体選手選考を兼ねた七尾市体育大会弓道競技と選手選考会、8 月県体出場、9 月能登島武道館立野弓道場開設記念大会、そして、11 月には弓道選手権大会があります。



〈弓道場開設記念大会開会式〉

【今後の活動目標】

平成元年には田鶴浜町弓道協会は、会員 16 名で県体個人優勝 2 回、全国青年大会出場、鹿島郡体育大会弓道競技男女優勝 2 回という輝かしい歴史がありますが、今では会員 4 名です。

しかも、高齢化が進んでいます。しかしながら、愛する弓道をなんとか広めようと日々頑張っ

て活動しています。
また、弓道は高齢者でもできることから、来年あたりから弓道教室開設を考えています。



〈七尾市民体育大会弓道競技〉

【参 考】

七尾市弓道協会支部別会員数

七 尾 支 部	6 名
能登島支部	16 名
田鶴浜支部	4 名
計	26 名



NOTO ヤンキース (硬式卓球)

私達女子卓球チーム「NOTO ヤンキース」は、もとは平成元年に卓球好きな仲間が数名集まり、スタートさせた小さな組織でした。その後、平成15年に、地域の方や卓球を愛する仲間が増え、チーム名「NOTO ヤンキース」としての活動を始めました。

メンバーは、嫁ぎ先が七尾の方や学生時代を七尾で過ごし卓球に汗を流した方など、現在七尾市内在住の方を中心に、下は20歳代から上は60歳を超える仲間達が在籍しています。メンバーは、純粋に卓球を楽しむという人から競技志向の方までの幅広い集団です。中には北信越チャンピオンのメンバーも在籍しています。

日頃は、年間を通して週2回田鶴浜武道館で練習をしています。主婦が多いため、皆さん



それぞれに忙しい中時間を作り健康増進及び体力強化など様々な目的のために汗を流しています。

東京オリンピックを間近に控え、TVなどで卓球の映像が流れ、卓球の関心度がどんどん上がってきている印象があります。

私達 NOTO ヤンキースの今後の活動目標は、卓球を通じて仲間が集い、スポーツを愛することを目的とし、長く卓球を続けていけるような組織を目指しています。

これまでの活動内容及び成績は以下のとおり

日 付	大 会 名	参 加 者 名	結 果
H29. 3. 5	石川県団体選手権	団 体	優勝
H29. 4.22	全国百万石オープン	奥本睦美・清酒美和	優勝
H29. 6.11	石川県レディースシングルス	清酒美和	優勝
H29. 7.23	金沢市オープン	団 体	優勝
H29. 9.30	北信越ブロックレディース	団 体	優勝
H29.10.15	石川県レディースダブルス	奥本睦美・大森のり子	優勝
H29.10.21	富山県レディースダブルス	清酒美和・中田幸恵	優勝
H29.11. 5	金沢市プラムレディースオープン	団 体	優勝
H29.11.12	石川県勤労者秋季体育大会	団 体	優勝
H30. 4. 1	富山県レディースダブルス	林圭子・清酒美和	優勝
H30. 6.10	石川県レディースシングルス	清酒美和	優勝
H30. 9. 9	金沢市プラムレディースオープン	団 体	2 位
H30. 9.29	北信越ブロックレディース	団 体	3 位
H30.10.7	河北オープン	団 体	2 位
H30.10.14	石川県レディースダブルス	奥本睦美・大森のり子	2 位
H31. 2.17	石川県勤労者冬季卓球	団 体	2 位
H31. 3. 3	石川県勤労者冬季卓球 3 人ダブルス	団 体	2 位
H31. 4. 6	富山県レディースダブルス	瀧音一葉・清酒美和	優勝
H31. 4.20	全国百万石オープン	奥本睦美・清酒美和	優勝
R 1. 6. 8	金沢市オープン	団 体	2 位
R 1. 6.30	石川県レディース団体	団 体	2 位

いずみ会 (ラージボール卓球)

【設立の経緯】

辰年・巳年の同級生が、厄年のお祓いで集まり、「いずみ会」が発足しました。

最初は、20 数名いた会員も、30 年過ぎて現在 13 名です。

当初は、綱引き大会に出場するなど、週一回は体育館で、ストレッチ、ランニングと運動を続けていましたが、いつの間にか体育館も遠のいていました。

60 歳に手が届き「何か身体を動かしたいね！」と話し合うなかから、体力の維持と楽しみを兼ねてラージボール卓球を始めることにしました。

【練習日】

毎週月曜日の午後の 2 時間、田鶴浜武道館で、素のままの奇声(大声)を発したり、笑ったり、時には真剣に楽しい時間を過ごしています。



最初は、練習から帰ると筋肉痛のため、一休みして夕食の準備をしたものでした。5 年目に入り、体もなれ、ラリーも楽しくなり、しっかりストレス解消になっております。

【今後の活動目標】

町内もどんどん変化していきますが、近くに体育施設があることに感謝して、これからはスポーツクラブ会員の更新をしながら、時にはお花見会、食事会などを盛り込みながら、ラージボール卓球を続けていきます。

今は、4 人での卓球ですが、一人でも生涯スポーツ好きが増えることを目標に、「楽しく・笑顔」で活動していきます。



さくら姫 (ラージボール卓球)

【設立の経緯】

平成 31 年 4 月に、卓球好きな女の子(熟女) 6 人が集まり、月曜日の午前に練習が始まりました。

クラブの名前が必要とわかり、どんな名前にするか？話し合いました。外は桜の花が満開！つけた名前が「さくら姫」。後で男性一人が参加し、姫達のお守り役をしています。



練習はそれぞれが自分の課題を持ち、少しでも上手くなるように励んでいます。

時には試合に臨み、刺激を受け、新たな課題を見つけ、どうしたら上手になるか、悩みながら練習しております。



【今後の活動目標】

クラブ発足してから数ヶ月しかたっておりませんが、皆少し上手くなりました。

練習は真剣ですが、休憩時間は別でにぎやかなこと、いろいろな話に花が咲きます。

これからも卓球が上手くなるように、それとともに一番大切な健康の保持増進を目指し、お互い、切磋琢磨しながら頑張っていきます。



卓友会 (ラージボール卓球)

【設立の経緯】

田鶴浜スポーツクラブ設立 20 周年記念誌の発刊に際して原稿を依頼されましたが、まだ発足して5年程度の会でもあり、戸惑いを感じながら筆を執ることになりました。

クラブ名は、「卓友会」で、現在の会員は登録構成員 8 名で、実質の活動員は 11 名です。

スポーツクラブは、このクラブの成り立ちと大いに関係しているのではないかと思います。

ほとんどの人が、子どもの頃、あるいは青年期に卓球をしていたが、仕事の関係で中断していたが、定年を迎え、生涯スポーツとして再度始めた人が多いことです。

これまでは、卓球と言えば硬式球ということになっていたのですが、新卓球として、ラージボール卓球が公認されました。ラージボール卓球は、比較的高齢者でも大いに楽しめ、健康増進、生涯スポーツとして最適です。そのため、会員の親睦を兼ねて始めた人も多いのです。

そんな中であって、この会の発足時には、すでに他の卓球クラブで活躍していた人も多く参加しました。現在は、週1回毎週木曜日の午前中に練習しているクラブです。もともと卓球好きな人達ばかりで、他のクラブの練習日もあり、木曜日のみ他のクラブの練習日と重ならないことから、田鶴浜武道館で練習することになりました。

卓友会の会員は、県、全国大会等の出場選手もいるのですが、卓友会としてではなく、それぞれ卓友会発足以前から、市内の各クラブに属し、それぞれのチームの一員として活躍していた人も多いのです。特に卓友会の会員は、それぞれ所属のチームの中でもトップクラスの人達ばかりです。

卓友会はラージボール卓球を行っています。県でもそれぞれ優秀な成績を上げていることをお伝えしておきます。

今年も県代表として全国大会に出場している小川、木下、上島もいますが、これからも県の代表として毎年数人の選手を送りだせるのではな

いかと思っております。

卓友会のもう一つの顔は、田鶴浜スポーツクラブの提案で始まった「のびのびクラブ」の指導員の顔です。その趣旨は、小学生にスポーツの楽しさを味わってほしいことと、自分に合ったスポーツを探してもらうことです。

そのために様々なスポーツに触れる機会づくりに関わっています。この取組が将来的にスポーツ人口の拡大につながればと思っています。

さらには、その中から将来世界を股にかける選手が生まれて欲しいと願っています。

このところ日本を代表する卓球選手は、世界大会でメダルを取ることが多くなってきました。その選手を見ていると、小さな子どもの頃からラケットを振っていた人がほとんどですが、早い時期から卓球に限らず、いろいろなスポーツに親しむことの重要性を感じています。

我が「卓友会」はまだまだ発展途上ですが、皆さん温かく見守ってくださるようお願いいたします。



【団体構成員名簿】

上島藤男、中村康夫、木下秋子、柳田 久、大橋松蔵、小川俊夫、倉田尚子、吉村祥一、清水 明、網谷隆之、永井和美 以上 11 名



【設立の経緯】

「ヤッター」

「ラッキー」

「ごめん、入らんかったわ」

「すごい、ようとしたな」

「いいサーブや」

なんと、ここは田鶴浜武道館の中の卓球場です。



田鶴浜中学校を卒業し、田鶴浜以外で生活していた同級生が再び 40 余年ぶりに集まり、ラージボール卓球を楽しんでいるのです。時々昔の懐かしい学校生活の話をしながら心はいつも中学時代に戻っています。

時に、東京に住んでいる同級生も帰省する毎にラケットを持ってきて一緒にラージボールを楽しんでいます。帰省する一つの理由にもなり目的にもなりつつあるようです。同級生ならではの言葉使いが何とも心をなごませてくれます。



「なんしとらんや」

「腰、高いやろ」

「球、ようみて打たんかいや」

「サーブ 高すぎやろ」

昔、卓球部だった人も卓球部以外だった人も、共に今はラージボールを通して、ラリーができる喜びと、ダブルスができる楽しさを満喫しています。今日も楽しい声が、体育館事務所まで響いているとか……。



のびのびクラブ (小学生のスポーツ体験)

【設立の経緯】

平成 29 年度、田鶴浜スポーツクラブと町の先生(人材バンク)との協働により、少年期における運動好き(意識)の向上を目的としてスタートしました。

地域の子ども達と高齢者(指導者)が、のびのびとスポーツを楽しめるクラブ「スポーツ体験“のびのびクラブ”」を設立しました。

【平成 29 年度】

学年別参加児童数

6年	5年	4年	3年	2年	1年	計
0	0	8	3	8	22	41

期 間 7 月 12 日～ 2 月 28 日 (16 回)

時 間 15:30～16:15

【平成 30 年度】

学年別参加児童数

6年	5年	4年	3年	2年	1年	計
0	1	0	7	14	24	46

期 間 6 月 13 日～12 月 19 日 (15 回)

時 間 15:45～16:30

【令和元年度】

学年別参加児童数

6年	5年	4年	3年	2年	1年	計
1	0	4	12	21	20	58

期 間 6 月 12 日～12 月 18 日 (13 回)

時 間 15:45～16:30



H30.12.19 閉 講 式

【種目と町の先生】 令和元年度

バドミントン

山田 之成、山本 美保、伊藤仁和我卓 球

上島 藤男、中村 康夫、大橋 松蔵
小川 俊夫

ゲートボール

高村 政藤、柘植 淑子、的場ふく子
吉川 昇、滝中きみ子

陸 上

伊藤 邦夫、山口 進、倉田 利一

グラウンドゴルフ

中倉 常則、大橋 規男、高畑 宏之
赤坂 正雄、平野 洋子

補 助 長田 次夫



辞令交付

小学1・2年生が 70%以上を占め、運動好き(意識)の向上を推進するには適した事業です。

町の先生の平均年齢は 70 歳で、小学生とは 60 歳以上の年齢差。行動力と個性対応に四苦八苦しながらも、楽しく取り組んでいます。

令和元年度は、児童の自主を尊重することから、班長制の導入を取り入れ、生徒と指導者が共に、楽しい時間を過ごせる工夫を積み重ねています。

地域の宝、児童と向き合い、日々に感謝しながら、一回一回工夫し指導しています。

【七尾市補助 (H29～R 元年度)】

七尾市こども・子育て地域支援事業

輝き3号 (角中勝也後援会北陸支所)

【設立の経緯】

2015年(平成27年)3月27日に、千葉県の株式会社ビーアイテック社長 大山博大氏が「角中勝也後援会」を設立。

2016年(平成28年)1月17日、後援会主催の角中勝也激励会が、千葉市で行われ、田鶴浜スポーツクラブ会員6名が参加しました。

この6名で激励会参加にあたり、正式な会の名称を新幹線の中で決定しました。

決定にあたり、

- ① 乗車の新幹線は、「かがやき」
- ② 七尾の関取「輝」の活躍を祈念
- ③ 参加者の後頭部が輝いている
- ④ 角中勝也選手の背番号61が益々輝きを放ってほしいことから、“輝き61号”と命名。

2017年に背番号が3となり“輝き3号”に名称を変更しました。



角中勝也激励会運営協力(千葉県千葉市)

- ・2016. 1.17 第1回 6名参加
- ・2017. 1.15 第2回 8名参加
後援会入会受付「輝き3号」実施
- ・2018. 1.21 第3回 7名参加
- ・2019. 1.20 第4回 5名参加



輝き61号で応援

- ・2016. 6.11 アパホテル&リゾート
インペリアルスイートで宿泊と応援



【近年・現在の活動】

角中勝也応援ツアー協力

- ・2015. 5.23 京セラドーム 20名参加
- ・2016. 8. 6 京セラドーム 41名参加
- ・2017. 8.19 京セラドーム 23名参加
- ・2018. 5.15 富山市民球場アルペン
スタジアム 91名参加



スポーツクラブ忘年会協力



【今後の活動目標】

会員数の増員と、2度のパ・リーグ首位打者角中勝也選手とのふれあい・クリニックなどを実施し、学童野球に希望と夢を持たせたい。

角中勝也ふるさと博物館開館

- ・2015.11.18 除幕式・展示品協力
展示品 角中家より21点他

角中勝也選手と夢を語ろう 2016

- ・2016. 1.24 運営協力

角中勝也後援会 北陸支所開設

- ・2016. 2. 1 後援会の了承を得て支所となる。

【角中勝也選手の記録】

- ・2012.10.7 首位打者 ,312
- ・2016.10.5 2度目の首位打者 ,339
最多安打 178安打
- ・2018.6.17 セパ交流戦 打率1位 ,412
- ・2019.5.11 千本安打達成 史上 297人目

スポーツ推進委員

【設立の経緯】

田鶴浜スポーツクラブスポーツ推進委員の前身は、田鶴浜町体育指導委員です。田鶴浜スポーツクラブがスタートした当初は、体育指導委員の立場で、協力団体としての参加でした。“くらしの中にスポーツを”をスローガンとして活動していた町体育指導委員会が、平成16年10月1日の七尾市との合併を契機に、“いつでも・どこでも・誰でも”スポーツに親しめる環境づくりに取り組む田鶴浜スポーツクラブにそのまま入ることはとても自然な流れでした。

田鶴浜スポーツクラブスポーツ推進委員となっても、それまでと変わらず、田鶴浜地区の一人でも多くの方々が、生涯を通じて継続的にスポーツを楽しむことができるように、企画・準備・運営に取り組んできています。



田鶴浜地区運動会開会式

【現在の活動】

<行事関係>

- 6月 「カローリング大会」開催・運営
- 7月 「ふれ愛スポーツフェスティバル」
体験コーナー
(カローリング・ペタンク等) 担当
- 9月 「田鶴浜地区運動会」
競技の決定・競技進行 等
健康ウォーキング(年2回程度)



カローリング大会

<会議関係>

- スポーツ推進委員会 総会(年1回)
- 各種行事関係会議(随時)

<県関係>

- 4月 「いしかわスポーツ・レクリエーション
交流会」参加
- 6月 「いしかわクラブゾーン行事」 参加

【今後の取組と課題】

“人材確保”が重要であると考えています。

現在、メンバーは19人。かつては、「田鶴浜町の体育指導委員の平均年齢は、県内で最も低いのでは…」といわれていましたが、メンバー入れ替えが少なく、現在に至っています。気心の知れた仲間とスムーズに活動が行なえていますが、今後のことを考えると、次に続く人材の確保が大きな課題といえます。そのために、スポーツ推進委員の活動を知ってもらえるように、そして理解してもらえるように、広報誌等を利用していく必要があると考えています。



健康ウォーキング 相馬編

“自らの資質の向上”を目指します。

田鶴浜町体育指導委員から田鶴浜スポーツクラブスポーツ推進委員に変わるとき、県の組織から離れることになり、研修の機会がなくなりました。そのため、県のレクリエーション協会の協力を得て、自分たちで研修会を行なってきました。どんどん変化する生涯スポーツの世界、その変化に対応していくために、今後益々推進委員として研修等を通じて力をつけていく必要があると考えています。



運動会競技の検討会議

資

料

田鶴浜スポーツクラブ規約

(名 称)

第 1 条 本会は、田鶴浜スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)と称する。

(事務局)

第 2 条 本クラブの事務局は、七尾市田鶴浜町二部144番地 田鶴浜体育館内事務所内に置く。

(目 的)

第 3 条 本クラブは、総合型スポーツクラブの育成をめざし、地域のスポーツ活動の振興を図ると共に、市民の健康づくりとコミュニティづくりに寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本クラブは、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. スポーツ振興に関する基本的推進方策の確立。
2. 市内各種スポーツ組織の連絡調整並びに育成指導。
3. スポーツに関する調査研究と情報の提供。
4. スポーツ大会、各種研修会の開催。
5. 広報誌の発行。
6. その他本会の目的達成に必要な事業。

(組 織)

第 5 条 本クラブは、本クラブ加盟団体及び関係団体の市民をもって構成する。

(役員の構成)

第 6 条 本クラブに次の役員を置く。

会長 1名 副会長 若干名 理事長 1名 副理事長 若干名
理事 若干名 監事 2名 事務局 若干名

第 7 条 本クラブに顧問及び参与を置くことができる。

第 8 条 理事は、スポーツ推進委員、本クラブ加盟団体、関係協力団体より若干名選出する。

第 9 条 会長、副会長及び理事長、監事は理事会で選任する。

第10条 事務局は、会長が委嘱し、顧問・参与は理事会の決議を経て会長が委嘱する。

(役員の職務)

第11条 役職員及び顧問・参与の任務は次のとおりとする。

1. 会長は、本会を代表し会務を統轄する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代理する。
3. 理事長は、会長の命を受け本会の会務を執行する。
4. 理事は、本会の会務を分担する。
5. 監事は、会計を監査する。
6. 事務局は、本会の事務を処理する。
7. 顧問は、会長の諮問に応ずる。
8. 参与は、会務に参与することができる。

(役員の任期)

第12条 役員の任期は、2ヶ年とし再任を妨げない。補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(推進委員会)

第13条 本クラブにスポーツ推進委員会を置く。

第14条 推進委員会に次の役員を置く。

委員長 1名 副委員長 若干名 事務局 1名

第15条 委員は、田鶴浜地域より若干名選出する。

第16条 委員長、副委員長は委員会で選任する。

(推進委員の事業)

第17条 推進委員は、次の事業を行う。

1. クラブが主催・共催する大会、イベントの運営・補助。
2. 田鶴浜地域の各種スポーツ大会・講習会の運営・補助並びに育成指導。
3. その他、クラブの目的達成に必要な事業。

(推進委員の任期)

第18条 推進委員の任期は、第12条役員の任期と同様2ヶ年とし、再任を妨げない。補欠による委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(代表委員)

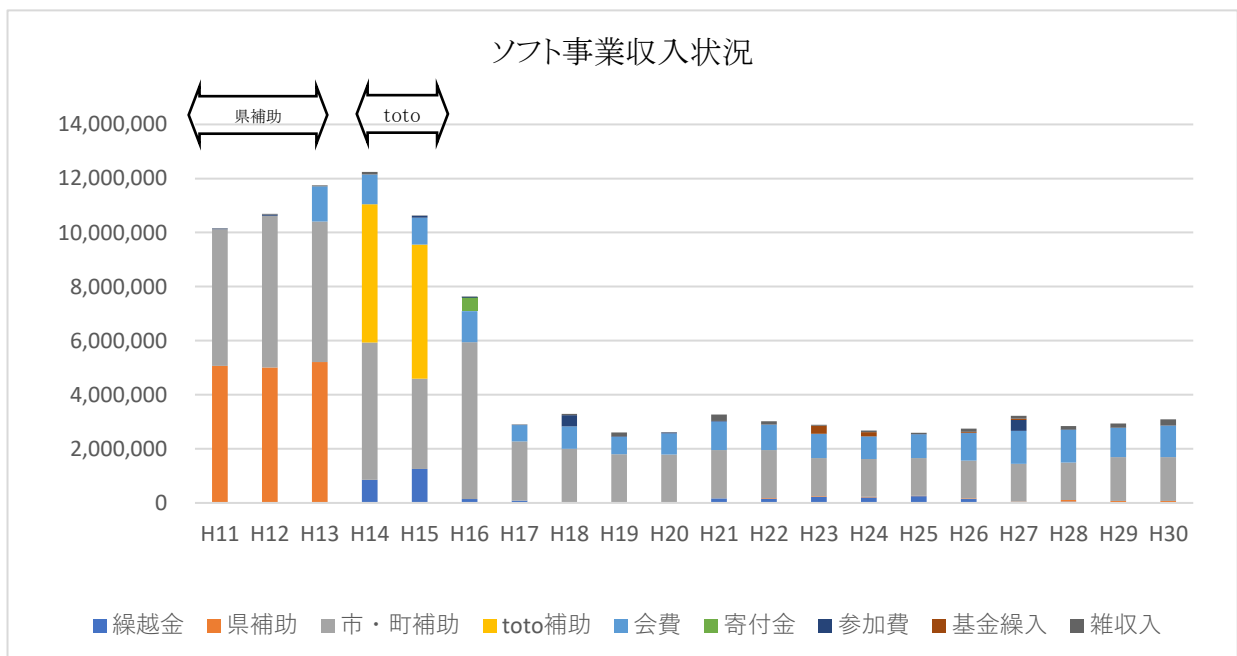
田鶴浜スポーツクラブ規約

- 第19条 本クラブに代表委員を置く。
- 第20条 代表委員は、各加盟団体から1名の推薦された者とし、総会の議決権を有する。
(代表委員の任期)
- 第21条 代表委員の任期は、第12条役員の任期と同様2ヶ年とし、再任を妨げない。補欠による委員の任期は、前任者の在任期間とする。
- (総会)
- 第22条 総会は、年1回以上開催するものとし、会長が必要と認めたとき、または理事の過半数以上の請求があったとき会長が招集する。
- 2 総会は、代表委員をもって構成し、代表委員の半数以上の出席(委任状を含む)によって成立し、議決は多数決で決め、可否同数のときは議長が決める。
- 3 総会は、次の事項を決議する。
1. 事業計画に関すること。
 2. 役員の承認に関すること。
 3. 規約の改正に関すること。
 4. その他、本会に関して重要なこと。
- (役員会)
- 第23条 会長は、本会の運営について必要があるときは役員会を召集する。総会の議決を要するもので、急を要し会長において総会を招集するいとまがないと認めた場合は、役員会において決することができる。ただし、この場合には、事後の総会に報告し、その承認を得なければならない。
- (理事会)
- 第24条 理事会は理事長が召集する。理事会は理事長が議長となり、理事の半数以上の出席によって成立し、会議の議決は多数決で決め、可否同数のときは議長が決める。
- 第25条 理事会は、年1回以上開催する。理事会で審議する事項は次のとおりである。
1. 規約の改廃
 2. 本会の運営方針
 3. 予算と決算
 4. 役員の任免
 5. 事業
 6. 理事からの提出議題
 7. その他会長が必要と認めたこと
- (部会)
- 第26条 本クラブには、次の部会を設置し、部長がそれぞれの部会を召集する。
1. 経営広報部会
 2. 事業推進部会
 3. 施設管理部会
- 第27条 各部会は、本会のそれぞれの具体的な事業を計画し、その実施にあたる。
- 第28条 各部会は、部長1名、副部長1名及び部員若干名をもって構成する。
- 第29条 部長・副部長・部員は、理事がこれにあたる。そのほか部長は部員を若干名選任することができる。部員の任務は2年とし、再任を妨げないものとする。
- (会計)
- 第30条 本クラブの経費は会費、補助金及び寄付金、事業収入等をもってこれにあてる。
- 第31条 本クラブの会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。
- (細則)
- 第32条 この規約の施行に必要な細則は、理事会の決議により別に定める。
- (附則)
- 本規約は、平成11年10月27日から施行する。
- (附則)
- 本規約は、平成13年5月23日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成16年10月1日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成17年4月1日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成18年4月1日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成21年4月1日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成27年4月1日から規約の一部改正する。
- (附則)
- 本規約は、平成29年4月26日から規約の一部改正する。

ソフト事業年度別収支状況

【 収入の部 】

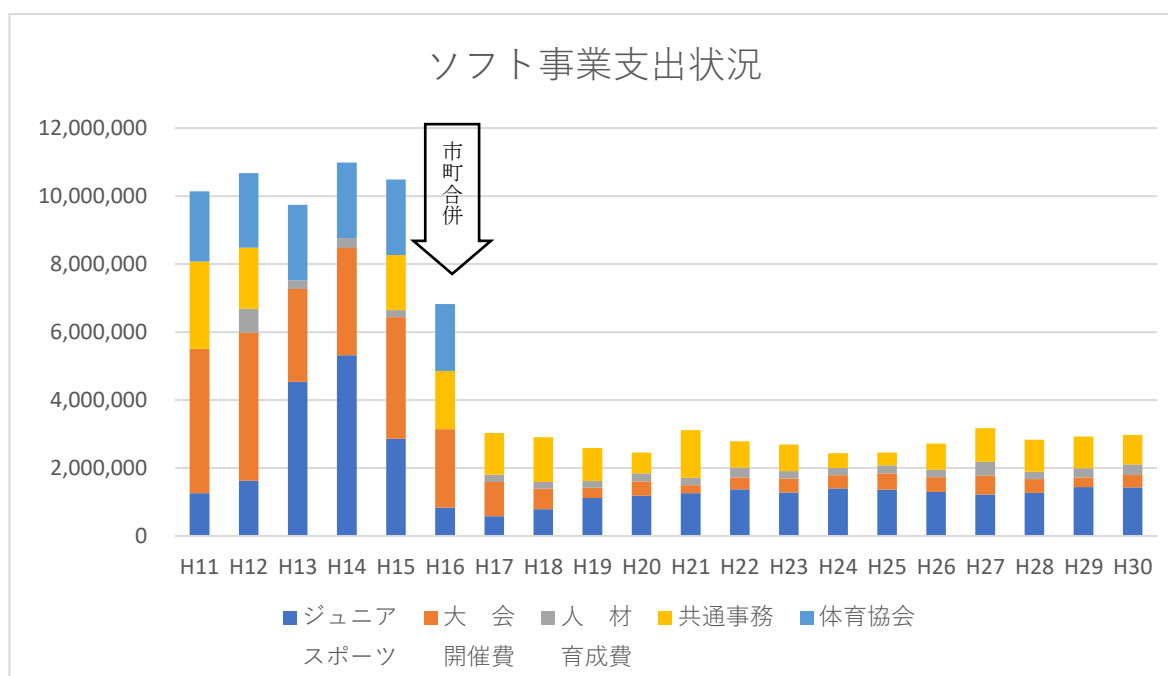
西 暦 年 度	和 暦	繰越金	補助金 県・toto・市	会 費	参加費	雑収入	計
1999	H11	0	10,127,062	0	24,000	176	10,151,238
2000	H12	9,176	10,612,788	0	45,000	20,050	10,687,014
2001	H13	7,276	10,400,362	1,304,350	0	35,425	11,747,413
2002	H14	853,014	10,200,000	1,101,000	0	90,288	12,244,302
2003	H15	1,256,187	8,300,000	994,580	75,850	1,025	10,627,642
2004	H16	141,964	5,800,000	1,147,290	41,600	500,015	7,630,869
2005	H17	79,351	2,200,000	602,000	13,800	13	2,895,164
2006	H18	18,723	1,980,000	836,000	415,000	45,384	3,295,107
2007	H19	17,688	1,782,000	638,000	27,400	135,815	2,600,903
2008	H20	11,703	1,782,000	779,500	31,000	18,774	2,622,977
2009	H21	167,415	1,782,000	1,060,500	25,400	228,554	3,263,869
2010	H22	153,754	1,807,000	933,000	11,000	111,366	3,016,120
2011	H23	230,263	1,425,000	888,000	12,000	334,554	2,889,817
2012	H24	201,829	1,420,000	831,000	10,000	219,668	2,682,497
2013	H25	244,804	1,420,000	874,000	7,000	51,474	2,597,278
2014	H26	145,075	1,420,000	1,019,000	8,000	159,821	2,751,896
2015	H27	32,290	1,419,600	1,215,500	397,000	153,270	3,217,660
2016	H28	50,563	1,440,000	1,218,500	6,000	131,087	2,846,150
2017	H29	15,810	1,682,000	1,072,500	11,400	151,738	2,933,448
2018	H30	8,973	1,680,000	1,168,500	11,900	223,550	3,092,923



ソフト事業年度別収支状況

【 支出の部 】

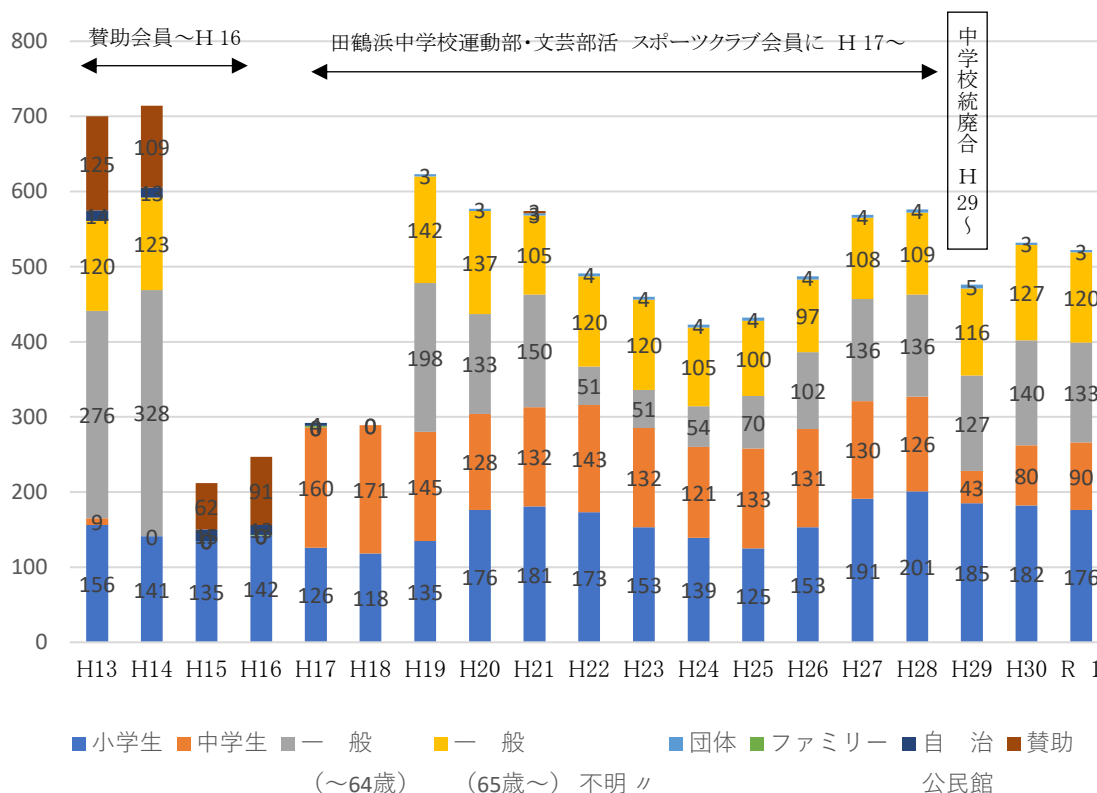
西暦 年度	和暦 年度	ジュニア スポーツ	大会 開催費	人材 育成費	共通事務	体育協会	合計
1999	H11	1,261,300	4,242,010	-	2,573,752	2,065,000	10,142,062
2000	H12	1,626,125	4,358,067	696,817	1,798,729	2,200,000	10,679,738
2001	H13	4,536,810	2,734,500	247,300	0	2,220,000	9,738,610
2002	H14	5,321,219	3,153,346	293,550	0	2,220,000	10,988,115
2003	H15	2,864,609	3,571,150	213,169	1,616,750	2,220,000	10,485,678
2004	H16	839,171	2,307,995	0	1,708,891	1,964,101	6,820,158
2005	H17	578,675	1,008,642	220,200	1,218,924	0	3,026,441
2006	H18	785,690	605,901	200,000	1,312,328	0	2,903,919
2007	H19	1,119,510	298,380	200,000	971,310	0	2,589,200
2008	H20	1,181,995	428,161	233,185	612,221	0	2,455,562
2009	H21	1,264,028	234,493	217,400	1,394,194	0	3,110,115
2010	H22	1,377,105	341,698	295,000	772,054	0	2,785,857
2011	H23	1,282,910	410,836	215,000	779,242	0	2,687,988
2012	H24	1,403,733	382,803	215,000	436,157	0	2,437,693
2013	H25	1,366,870	480,544	236,250	368,539	0	2,452,203
2014	H26	1,298,655	434,679	209,528	776,744	0	2,719,606
2015	H27	1,226,884	547,799	412,509	979,905	0	3,167,097
2016	H28	1,268,083	406,361	220,000	935,896	0	2,830,340
2017	H29	1,440,431	282,984	270,645	930,415	0	2,924,475
2018	H30	1,433,416	363,267	310,700	861,671	0	2,969,054



年 度 別 会 員 数

年度	小学生	中学生	一 般 (～64歳)	一 般 (65歳～)	団体	ファミリー	自 治 公民館	賛助	計
H11				不明					不明
H12				〃					〃
H13	156	9	276	120			14	125	561
H14	141	0	328	123			13	109	592
H15	135	0	不明	不明			15	62	不明
H16	142	0	〃	〃		1	13	91	〃
H17	126	160	〃	〃		2	4		〃
H18	118	171	〃	〃					〃
H19	135	145	198	142	3				623
H20	176	128	133	137	3				577
H21	181	132	150	105	3			3	571
H22	173	143	51	120	4				491
H23	153	132	51	120	4				460
H24	139	121	54	105	4				423
H25	125	133	70	100	4				432
H26	153	131	102	97	4				487
H27	191	130	136	108	4				569
H28	201	126	136	109	4				576
H29	185	43	127	116	5				476
H30	182	80	140	127	3				532
R 1	176	90	133	120	3				522

年 度 別 会 員 数



スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成11年度 田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会(組織案)

役 職 名	氏 名	所 属
協 議 会 委 員	端山 利八	町教育長
	杉森 繁	町公民館長
	井上 茂	町総務課長
	遠藤 正志	町社会教育課長
	山田 之成	町体育指導委員長
	秋山 秀正	町体育協会長
	出口 良信	町ジュニアスポーツクラブ会長
	永田キクイ	町体育館スポーツクラブ代表

運 営 委 員

体育協会役員 2名 体育協会代表 2名 ジュニアスポーツクラブ 2名 体育館スポーツクラブ 2名
コミュニティ(地区公民館) 2名 地域スポーツ普及推進委員 2名 老人会 1名 青年団 1名
青壮年団 1名 婦人会 1名 学校代表 1名 社会福祉協議会 1名 保育所代表 2名

平成11年度 田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会

役 員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	秋山 秀正 出口 良信 永田キクイ 杉森 繁
理 事 長	津田 照生
副 理 事 長	山田 之成
理 事	井上 茂 遠藤 正志 中村 博一 中村 吉成 遠藤 敦 山口 進 平野 貢
	杉森 静子 笹川 一栄 長尾 勝則 後藤 長實 菊川 武志 竹内 芳明 川上 和子
	橋本 静枝 氣戸 俊夫 左近正志郎 立川 昌弘 赤坂 幸美 村田 昭夫 松田 忠昭
	土本 孝司
監 事	永田 康弘 遠藤 毅
事 務 局	一花 昭宏

役員構成団体

会 長	教育長
副 会 長	体育協会長、ジュニアスポーツ、体育館スポーツクラブ代表、公民館長
理 事 長	体育協会理事長
副 理 事 長	体育指導委員委員長
理 事 (監 事)	町総務課長、社会体育課長、保育所代表、小中学校代表、体育協会、ジュニアスポーツ 体育館スポーツ、地区公民館、地域スポーツ普及推進委員、 青年団、青壮年団、婦人会 社会福祉協議会
事 務 局	社会体育課職員

平成12年度 田鶴浜町スポーツクラブ推進協議会

役 員

役 職 名	氏 名
顧 問	西平 秀夫 岡野 廣市
会 長	福田 教導
副 会 長	永崎 陽 出口 良信 永田キクイ 杉森 繁
理 事 長	津田 照生
副 理 事 長	遠藤 毅
理 事	永畠 直樹 遠藤 正志 中村 博一 中村 吉成 遠藤 敦 山口 進 平野 貢
	杉森 静子 笹川 一栄 長尾 勝則 後藤 長實 菊川 武志 竹内 芳明 福地 富栄
	宮本 和美 端山 利八 青木 貴生 吉村 重次 福島 栄子 村田 昭夫 毛利 兵作
	土本 孝司
監 事	永田 康弘 山田 之成
事 務 局	一花 昭宏 南出 千恵

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

役員構成団体

顧問	町長、議会議長
会長	教育長
副会長	体育協会長、ジュニアスポーツ、体育館スポーツクラブ代表、公民館長
理事長	体育協会副会長
副理事長	体育指導委員委員長
理事 (監事)	町総務課長、社会体育課長、保育所代表、小中学校代表、体育協会、ジュニアスポーツ 体育館スポーツ、地区公民館、地域スポーツ普及推進委員、青年団、青壮年団、婦人会 社会福祉協議会
事務局	社会体育課職員

平成13年度 田鶴浜スポーツクラブ推進協議会

役員

役職名	氏名
顧問	西平 秀夫 岡野 廣市
会長	福田 教導
副会長	永崎 陽 出口 良信 永田キクイ 杉森 繁
理事長	津田 照生
副理事長	遠藤 毅
理事	永畠 直樹 遠藤 正志 中村 博一 中村 吉成 遠藤 敦 山口 進 平野 貢 杉森 静子 笹川 一栄 上野 寿弥 後藤 長實 菊川 武志 竹内 芳明 福地 富栄 宮本 和美 端山 利八 杉吉 勝郎 垣内 俊広 福島 栄子 直江 克彦 毛利 兵作 土本 孝司
監事	永田 康弘 山田 之成
事務局	一花 昭宏 三枝 敦

役員構成団体

顧問	町長、議会議長
会長	教育長
副会長	体育協会長、ジュニアスポーツ、体育館スポーツクラブ代表、公民館長
理事長	体育協会副会長
副理事長	体育指導委員委員長
理事 (監事)	町総務課長、教育委員会事務局長、保育所代表、小中学校代表、体育協会、ジュニアスポーツ 体育館スポーツ、地区公民館、地域スポーツ普及推進委員、青年団、青壮年団、婦人会 社会福祉協議会
事務局	教育委員会事務局

平成14年度 田鶴浜スポーツクラブ推進協議会

役員

役職名	氏名
顧問	西平 秀夫 永崎 陽
会長	福田 教導
副会長	津田 照生 出口 良信 永田キクイ 杉森 繁
理事長	柘植 英一
副理事長	遠藤 毅
理事	遠藤 正志 蛸島 次男 永江 毅彦 中村 吉成 遠藤 敦 山口 進 平野 貢 中村 宗幹 笹川 一栄 上野 寿弥 時国 公政 菊川 武志 福田智江子 中村久美子 端山 利八 杉吉 勝郎 観音 和繁 谷渡 末枝 直江 克彦 毛利 兵作 藤澤 和吉
監事	永田 康弘 山田 之成
事務局	長田 次夫 三枝 敦

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

役員構成団体

顧問	町長、議会議長
会長	教育長
副会長	体育協会長、ジュニアスポーツ、体育館スポーツクラブ代表、公民館長
理事長	体育協会副会長
副理事長	体育指導委員委員長
理事 (監事)	町総務課長、教育委員会事務局長、保育所代表、小中学校代表、体育協会、ジュニアスポーツ 体育館スポーツ、地区公民館、地域スポーツ普及推進委員、青年団、青壮年団、婦人会 社会福祉協議会
事務局	教育委員会事務局

平成15年度 田鶴浜スポーツクラブ推進協議会

役員

役職名	氏名
顧問	赤坂 隆 氣戸 佐俊
会長	福田 教導
副会長	津田 照生 出口 良信 観田 健治 毛利 兵作
理事長	柘植 英一
副理事長	遠藤 毅
理事	山口 進 大橋 哲夫 永江 毅彦 中村 宗幹 西本 義光 永田キクイ 三野 恵子 金崎 信子 端山 利八 上野 寿弥 谷渡 末枝 石川 昇 蛸島 次男
監事	山田 之成 内田 一哉
事務局	長田 次夫 三枝 敦 町 峰子

役員構成団体

顧問	町長、議会議長
会長	教育長
副会長	体育協会長、ジュニアスポーツ、体育館スポーツクラブ代表、小中学校代表
理事長	体育協会副会長
副理事長	体育指導委員委員長
理事 (監事)	教育委員会事務局長、保育所代表、体育協会、ジュニアスポーツ、体育館スポーツ 地区公民館、アスロン支配人、婦人会
事務局	教育委員会事務局

平成16年度 田鶴浜スポーツクラブ

役員

役職名	氏名
顧問	赤坂 隆 氣戸 佐俊
会長	福田 教導
副会長	津田 照生 出口 良信 観田 健治 堂端 浩
理事長	柘植 英一
副理事長	遠藤 毅
理事	大橋 哲夫 藤澤 浩 永江 毅彦 中村 宗幹 西本 義光 永田キクイ 野崎 清美 森 和美 端山 利八 永田 康弘 島田 利勝 谷渡 末枝 石川 昇 山口 進
監事	山田 之成 内田 一哉
事務局	三枝 敦 中村 大輔

役員構成団体

顧問	町長、議会議長
会長	教育長
副会長	体育協会長、ジュニアスポーツクラブ代表、小中学校代表
理事長	体育協会副会長
副理事長	体育指導委員委員長
理事 (監事)	教育委員会事務局長、保育所代表、体育協会、ジュニアスポーツ、体育館スポーツ 田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、アスロン支配人、婦人会、老人会
事務局	教育委員会事務局

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成17年度

役員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅
理 事	観田 健治 堂端 浩 杉藤 敏信 山田 之成 藤澤 浩 永江 毅彦 瀧音 直貴 大橋 哲夫 西本 義光 永田キクイ 青木 晴美 端山 利八 永田 康弘 島田 利勝 繰納 秀明 長田 次夫 三枝 敦
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	一花 昭宏 中村 大輔

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会田鶴浜支部長
副 理 事 長	七尾市体育指導委員副委員長
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、七尾市体育協会田鶴浜支部、ジュニア指導者 体育館スポーツ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、アスロン支配人 田鶴浜地区生涯学習センター、市生涯学習課
事 務 局	田鶴浜地区生涯学習センター職員

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 赤坂 隆之 卜部 文彦 間長 克介 菊川 武志 大橋 隼人 大畠朱美恵 久田 夏子 松山亜加里 臼井 晴香

平成18年度

役員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅
理 事	竹本 武 堂端 浩 杉藤 敏信 山田 之成 藤澤 浩 永江 毅彦 瀧音 直貴 大橋 哲夫 西本 義光 永田キクイ 青木 晴美 端山 利八 永田 康弘 島田 利勝 繰納 秀明 長田 次夫 三枝 敦
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	中村 大輔

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会田鶴浜支部長
副 理 事 長	七尾市体育指導委員副委員長
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員 七尾市体育協会田鶴浜支部、ジュニア指導者、体育館スポーツ、アスロン支配人 田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、田鶴浜地区生涯学習センター、市生涯学習課
事 務 局	田鶴浜地区生涯学習センター職員

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 赤坂 隆之 ト部 文彦 間長 克介 菊川 武志 大橋 隼人 大島朱美恵 久田 夏子 松山亜加里 臼井 晴香

平成19年度

役 職	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅
理 事	竹本 武 堂端 浩 杉藤 敏信 山田 之成 藤澤 浩 永江 毅彦 瀧音 直貴 大橋 哲夫 西本 義光 長田 次夫 永田キクイ 南 朋之 山口 伸二 島田 利勝 繰納 秀明 藤 勝好
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	中村 大輔

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会田鶴浜支部長
副 理 事 長	七尾市体育指導委員副委員長
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、七尾市体育協会田鶴浜支部、ジュニア指導者 体育館スポーツ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、けいじゅアスロン代表、市スポーツ振興課長
事 務 局	七尾市スポーツ振興課職員

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 大島朱美恵 久田 夏子 松山亜加里 片原亜希子

平成20年度

役 職	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅
理 事	竹本 武 近江 一芳 杉藤 敏信 山田 之成 藤澤 浩 永江 毅彦 瀧音 直貴 大橋 哲夫 西本 義光 長田 次夫 永田キクイ 南 朋之 山口 伸二 島田 利勝 武田 重晴
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	中村 大輔

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会田鶴浜支部長
副 理 事 長	七尾市体育指導委員副委員長
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、七尾市体育協会田鶴浜支部、ジュニア指導者 体育館スポーツ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、けいじゅアスロン代表、市スポーツ振興課長
事 務 局	七尾市スポーツ振興課職員

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 大畠朱美恵 久田 夏子 松山亜加里 片原亜希子

平成21年度

役 員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅 岩尾 八郎
理 事	竹本 武 近江 一芳 杉藤 敏信 山田 之成 南 朋之 山口 伸二 酒井 昭雄 西本 義光 長田 次夫 大橋 哲夫 藤澤 浩 永田キクイ 山口 修 大橋 松蔵 日下登喜雄 横川 外行 山沢 豊和 岡馬 和久 帽子山定雄
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	岩尾 八郎 腰岡 五月

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会役員、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会役員
副 理 事 長	七尾市ソフトボール、事務局兼任
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、市ソフトボール、水泳、卓球、弓道 ゲートボール、紅花、グラウンドゴルフ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長 鹿北商工会田鶴浜支所、和倉温泉旅館協同組合
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 大畠朱美恵 久田 夏子 片原亜希子 桑原 啓子

平成22年度

役 員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	津田 照生 出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅 岩尾 八郎
理 事	高 絹子 近江 一芳 杉藤 敏信 山田 之成 南 朋之 山口 伸二 酒井 昭雄 西本 義光 長田 次夫 大橋 哲夫 藤澤 浩 永田キクイ 山口 修 大橋 松蔵 日下登喜雄 横川 外行 山沢 豊和 岡馬 和久 帽子山定雄
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	岩尾 八郎 的場ふく子

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会役員、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会役員
副 理 事 長	七尾市ソフトボール、事務局兼任
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、市ソフトボール、水泳、卓球、弓道 紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長 鹿北商工会田鶴浜支所、和倉温泉旅館協同組合
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 小浦 倫範 大畠朱美恵 久田 夏子 片原亜希子

平成23年

役 員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅 岩尾 八郎
理 事	高 絹子 近江 一芳 杉藤 敏信 山田 之成 南 朋之 福地 茂雄 酒井 昭雄 西本 義光 長田 次夫 大橋 哲夫 藤澤 浩 石川 昇 山口 修 大橋 松蔵 日下登喜雄 横川 外行 山沢 豊和 岡馬 和久 帽子山定雄
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	岩尾 八郎 的場ふく子

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会役員、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会役員
副 理 事 長	七尾市ソフトボール、事務局兼任
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、市ソフトボール、水泳、卓球、弓道 紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長 鹿北商工会田鶴浜支所、和倉温泉旅館協同組合
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 小浦 倫範 久田 夏子 片原亜希子 桜木 良枝

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成24年度

役員

役 職 名	氏 名
会 長	福田 教導
副 会 長	出口 良信 山口 進
理 事 長	柘植 英一
副 理 事 長	遠藤 毅 岩尾 八郎
理 事	高 絹子 坂井 善久 杉藤 敏信 山田 之成 上島 藤男 福地 茂雄 島田 利勝 西本 義光 長田 次夫 大橋 哲夫 藤澤 浩 石川 昇 山口 修 大橋 松蔵 日下登喜雄 横川 外行 山沢 豊和 岡馬 和久 帽子山定雄
監 事	中村 宗幹 内田 一哉
事 務 局	岩尾 八郎 山口 進 的場ふく子

役員構成団体

会 長	スポーツクラブ
副 会 長	七尾市体育協会役員、ジュニア指導者
理 事 長	七尾市体育協会役員
副 理 事 長	七尾市ソフトボール、事務局兼任
理 事 (監 事)	小中学校長、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、市ソフトボール、水泳、卓球、弓道 紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長 鹿北商工会田鶴浜支所、和倉温泉旅館協同組合
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	杉藤 敏信
副 委 員 長	山田 之成
委 員	内田 一哉 遠藤 毅 時国 忠宏 松本 誠次 山下 良一 横川 俊充 赤坂 隆之 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 大橋 隼人 小浦 倫範 久田 夏子 片原亜希子

平成25年度

役員

役 職 名	氏 名
顧 問	福田 教導
会 長	山口 進
副 会 長	柘植 英一 長田 次夫 杉藤 敏信
理 事 長	遠藤 毅
副 理 事 長	大橋 哲夫 西本 義光
理 事	内田 一哉 東間 昭一 清水 昭浩 上島 藤男 福地 茂雄 島田 利勝 藤澤 浩 石川 昇 小浦 忠吉 大橋 松蔵 高村 政藤 横川 外行 山沢 豊和 中村 大輔 宮下 淳
監 事	中村 宗幹 倉田 利一
事 務 局	岩尾 八郎 的場ふく子

役員構成団体

顧 問	前会長
会 長	ジュニア指導者
副 会 長	クラブ役員、ジュニア指導者、スポーツ推進委員
理 事 長	スポーツ推進委員
副 理 事 長	ジュニア指導者
理 事 (監 事)	小中学校代表、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、弓道 紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、水泳、卓球
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

スポーツ推進委員

役 職 名	氏 名
委 員 長	内田 一哉
副 委 員 長	松本 誠次
委 員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

平成26年度

役 員

役 職 名	氏 名
顧問	福田 教導
会 長	山口 進
副 会 長	柘植 英一 長田 次夫 杉藤 敏信
理 事 長	遠藤 毅
副 理 事 長	大橋 哲夫 西本 義光
理 事	内田 一哉 東間 昭一 清水 昭浩 上島 藤男 福地 茂雄 島田 利勝 藤澤 浩 石川 昇 小浦 忠吉 大橋 松蔵 高村 政藤 横川 外行 山沢 豊和 中村 大輔 宮下 淳
監 事	中村 宗幹 倉田 利一 大橋 松蔵
事 務 局	岩尾 八郎 山本 美保

役員構成団体

顧問	前会長
会 長	ジュニア指導者
副 会 長	クラブ役員、ジュニア指導者、スポーツ推進委員
理 事 長	スポーツ推進委員
副 理 事 長	ジュニア指導者
理 事 (監 事)	小中学校代表、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、弓道 紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、水泳、卓球
事 務 局	スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役 職 名	氏 名
委 員 長	内田 一哉
副 委 員 長	松本 誠次
委 員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

平成27年度

役 員

役 職 名	氏 名
顧問	福田 教導
会 長	山口 進
副 会 長	柘植 英一 杉藤 敏信
理 事 長	遠藤 毅
副 理 事 長	大橋 哲夫 西本 義光
理 事	内田 一哉 東間 昭一 山崎 泰和 上島 藤男 福地 茂雄 島田 利勝 藤澤 浩 石川 昇 小浦 忠吉 高村 政藤 永田 康弘 山沢 豊和 中村 大輔 宮下 淳
監 事	大橋 松蔵 倉田 利一
事 務 局	長田 次夫 山本 美保

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

役員構成団体

顧問	会長	前会長
副会長	理事長	ジュニア指導者
理事	副理事長	クラブ役員、スポーツ推進委員
監事	事務局	スポーツ推進委員
		ジュニア指導者
		小中学校代表、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、弓道
		紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、卓球
		スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役職	氏名
委員長	内田 一哉
副委員長	松本 誠次
委員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

平成28年度

役員

役職	氏名
顧問	福田 教導
会長	山口 進
副会長	柘植 英一 杉藤 敏信
理事長	遠藤 毅
副理事長	大橋 哲夫 西本 義光
理事	内田 一哉 東間 昭一 山崎 泰和 井上 茂 平見 秀次 島田 利勝 藤澤 浩 石川 昇 小浦 忠吉 高村 政藤 永田 康弘 山沢 豊和 中村 大輔 宮下 淳
監事	大橋 松蔵 倉田 利一
事務局	長田 次夫 山本 美保

役員構成団体

顧問	会長	前会長
副会長	理事長	ジュニア指導者
理事	副理事長	クラブ役員、スポーツ推進委員
監事	事務局	スポーツ推進委員
		ジュニア指導者
		小中学校代表、スポーツ推進委員、ジュニア指導者、田鶴浜・相馬・金ヶ崎公民館長、弓道
		紅花、ゲートボール、グラウンドゴルフ、卓球
		スポーツクラブ事務局

スポーツ推進委員

役職	氏名
委員長	内田 一哉
副委員長	松本 誠次
委員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 山下 良一 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成29年度

役 員

役 職 名	氏 名								
顧問	福田 教導								
会長	山口 進								
副 会 長	柘植 英一	杉藤 敏信	伊藤 邦夫						
理 事 長	遠藤 毅								
副 理 事 長	大橋 哲夫	西本 義光							
理 事	内田 一哉	松本 誠次	小浦 忠吉	山田 之成	井上 茂	山崎 泰和	中倉 常則		
	高村 政藤	倉田 克典	遠藤 敏也	小浦 倫範					
監 事	大橋 松蔵	倉田 利一							
事 務 局	長田 次夫	山本 美保							

代 表 委 員

役 職 名	氏 名	所 属
代 表 委 員	上野 利嗣	田鶴浜ヒート
	中村 吉成	田鶴浜クレーンズ
	田村 祐二	学童野球田鶴浜クラブ
	山沢 豊和	田鶴浜ジュニアソフトテニス
	新野 吉信	城山アスリートクラブ (保護者)
	作田かおり	相馬・田鶴浜バドミントンクラブ
	宮下 淳	FC七尾ウエスト
	町 峰子	七尾中学校陸上部 (保護者)
	大橋 哲夫	七尾中学校女子バスケットボール部
	堀田 秀幸	田鶴浜バスケットボールクラブ
	出村 拓史	チームアサヒ
	石川 昇	紅花クラブ
	永田 康弘	田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会
	柘植 淑子	田鶴浜ゲートボール愛好会
	赤坂 幸美	いずみ会
	中村 康夫	卓友会
	吉村真由美	NOTOヤンキース
	永井 和美	ななおクラブ
	山口 修	弓道協会田鶴浜支部
	長田 次夫	輝き3号(角中勝也後援会)
	島田 利勝	相馬公民館長
	平見 秀次	金ヶ崎公民館長
	杉澤 順城	田鶴浜ライオンズクラブ

スポーツ推進委員

役 職	氏 名								
委 員 長	内田 一哉								
副 委 員 長	松本 誠次								
委 員	杉藤 敏信	山田 之成	遠藤 毅	時国 忠宏	横川 俊充	中村 吉成	谷渡 豊		
	深山 明博	間長 克介	菊川 武志	中村 成実	小浦 倫範	大橋 隼人	片原亜希子		
	小池 まり	輪瀬 薫	小玉 有香						



SNSの呼びかけによる除草作業
平成27年度 6回実施



都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト回収BOX設置
平成27年11月2日

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成30年度

役 員

役 職 名	氏 名
顧問	福田 教導
会長	山口 進
副 会 長	柘植 英一 杉藤 敏信 伊藤 邦夫
理 事 長	遠藤 毅
副 理 事 長	大橋 哲夫 西本 義光
理 事	内田 一哉 松本 誠次 小浦 忠吉 山田 之成 井上 茂 山本 祐一 中倉 常則 高村 政藤 倉田 克典 小浦 倫範
監 事	大橋 松蔵 倉田 利一
事 務 局	長田 次夫 山本 美保

代 表 委 員

役 職 名	氏 名	所 属
代 表 委 員	上野 利嗣	田鶴浜ヒート
	中村 吉成	田鶴浜クレーンズ
	田村 祐二	学童野球田鶴浜クラブ
	山沢 豊和	田鶴浜ジュニアソフトテニス
	川上 謙太	城山アスリートクラブ (保護者)
	酒井かおり	相馬・田鶴浜バドミントンクラブ
	宮下 淳	FC七尾ウエスト
	川森 昌代	七尾中学校陸上部 (保護者)
	大橋 哲夫	七尾中学校女子バスケットボール部
	長澤 晃市	七尾中学校男子ソフトテニス部
	堀田 秀幸	田鶴浜バスケットボールクラブ
	出村 拓史	チームアサヒ
	石川 昇	紅花クラブ
	永田 康弘	田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会
	柘植 淑子	田鶴浜ゲートボール愛好会
	赤坂 幸美	いずみ会
	上島 藤男	卓友会
	吉村真由美	NOTOヤンキース
	網谷 隆之	ななおクラブ
	山口 修	弓道協会田鶴浜支部
	長田 次夫	輝き3号(角中勝也後援会)
	島田 利勝	田鶴浜地区コミュニティセンター相馬分館長
	平見 秀次	田鶴浜地区コミュニティセンター金ヶ崎分館長
	杉澤 順城	田鶴浜ライオンズクラブ
	南 朋之	田鶴浜老人クラブ連合会

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	内田 一哉
副 委 員 長	松本 誠次
委 員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

スポーツクラブ役員・代表委員・スポーツ推進委員 名簿

平成31年度・令和元年度

役 員

役 職 名	氏 名
顧問	福田 教導
会長	山口 進
副 会 長	柘植 英一 杉藤 敏信 伊藤 邦夫
理 事 長	遠藤 毅
副 理 事 長	大橋 哲夫 西本 義光
理 事	内田 一哉 松本 誠次 小浦 忠吉 山田 之成 中村 康夫 長田 昂大 中倉 常則 高村 政藤 倉田 克典 倉田 利一 小浦 倫範
監 事	大橋 松蔵 時国 忠宏
事 務 局	長田 次夫 山本 美保

代 表 委 員

役 職 名	氏 名	所 属
代 表 委 員	上野 利嗣	田鶴浜ヒート
	杉吉 志郎	田鶴浜クレーンズ
	田村 祐二	田鶴浜ブルーエンジェルス
	山沢 豊和	田鶴浜ジュニアソフトテニス
	杉原 和広	城山アスリートクラブ (保護者)
	酒井かおり	相馬・田鶴浜バドミントンクラブ
	宮下 淳	FC七尾ウエスト
	西住 茂生	七尾中学校陸上部 (保護者)
	大橋 哲夫	七尾中学校女子バスケットボール部
	長澤 晃市	七尾ソフトテニスクラブ 男子
	松室 隆光	七尾ソフトテニスクラブ 女子
	出雲 貢	七尾ジュニア男子バスケットボールクラブ
	大橋 昂平	田鶴浜バスケットボールクラブ
	出村 拓史	チームアサヒ
	宮下 祐輔	リチャリー
	高畑 宏之	田鶴浜グラウンドゴルフ愛好会
	的場ふく子	田鶴浜ゲートボール愛好会
	赤坂 幸美	いずみ会
	上島 藤男	卓友会
	吉村真由美	NOTOヤンキース
	永井 和美	さくら姫
	狩山 玲子	29の会
	山口 修	弓道協会田鶴浜支部
	長田 次夫	輝き3号(角中勝也後援会)
	井上 茂	田鶴浜地区地域づくり協議会事務局長
	野崎 馨	田鶴浜ライオンズクラブ
	南 朋之	田鶴浜老人クラブ連合会

スポーツ推進委員

役 職	氏 名
委 員 長	内田 一哉
副 委 員 長	松本 誠次
委 員	杉藤 敏信 山田 之成 遠藤 毅 時国 忠宏 横川 俊充 中村 吉成 谷渡 豊 深山 明博 間長 克介 菊川 武志 中村 成実 小浦 倫範 大橋 隼人 片原亜希子 小池 まり 輪瀬 薫 小玉 有香

ジュニア指導者 名簿

H11年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	倉田 典泰	上野 利嗣	藤沢 浩	大橋 哲夫	辻 智典	
バスケットボール(金ヶ崎男子)	野中 悟	長濱 重信				
バスケットボール(女子)	永江 等	杉藤 敏信				
野 球	村井 郁祥	角中 稔	赤尾 久	大塚 公彰		
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明			
ジョギングクラブ	出口 良信	山口 進	西本 義光	竹内 芳明		
バドミントン	平野 貢					
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	栗津 輝夫	倉田 利一			
卓 球	大橋 松蔵	一花 徹	山口 満	西田 信行		
バレーボール	長田 次夫	遠藤 睦美				

H12年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	倉田 典泰	上野 利嗣	藤沢 浩	大橋 哲夫	辻 智典	
バスケットボール(金ヶ崎男子)	野中 悟	長濱 重信				
バスケットボール(女子)	永江 等	杉藤 敏信				
野 球	角中 稔	大塚 公彰	中村 大輔			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明			
ジョギングクラブ	出口 良信	山口 進	西本 義光	加納 靖巳	竹内 芳明	
バドミントン	平野 貢					
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	栗津 輝夫	倉田 利一			
卓 球	大橋 松蔵	一花 徹	山口 満	西田 信行		
バレーボール	長田 次夫	大橋 清孝	遠藤 睦美			

H13年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	上野 利嗣	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典	辻 ゆかり	
バスケットボール(女子)	永江 等	杉藤 敏信				
野 球	大塚 公彰	内田 一哉	吉村 兆			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明			
ジョギングクラブ	出口 良信	山口 進	西本 義光	加納 靖巳	竹内 芳明	
バドミントン	平野 貢					
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	倉田 利一				
卓 球	大橋 松蔵	一花 徹	山口 満	西田 信行		
バレーボール	長田 次夫	大橋 清孝	遠藤 睦美	青木まり子		

H14年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典			
バスケットボール(女子)	永江 等	杉藤 敏信				
野 球	大塚 公彰	吉村 兆	小栗田重和			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明			
ジョギングクラブ	出口 良信	山口 進	伊藤 邦夫	西本 義光	竹内 芳明	
バドミントン	平野 貢					
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	倉田 利一				
卓 球	大橋 松蔵	山口 満	西田 信行			
バレーボール	長田 次夫	大橋 清孝	青木まり子			

ジュニア指導者 名簿

H15年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典			
バスケットボール(女子)	永江 等	川端 修	杉藤 敏信	川森 有紗		
野 球	大塚 公彰	吉村 兆	小栗田重和			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明	一花 正広		
ジョギングクラブ	出口 良信 竹内 芳明	山口 進	伊藤 邦夫	倉田 利一	西本 義光	
バドミントン	平野 貢					
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	倉田 利一	伊藤 広也			
卓 球	大橋 松蔵	山口 満				
バレーボール	長田 次夫	大橋 清孝	青木まり子			

H16年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典			
バスケットボール(女子)	永江 等	川端 修	杉藤 敏信	川森 有紗		
野 球	大塚 公彰	田村 一義	中村 大輔			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明	一花 正広	遠藤 敦	
陸 上	出口 良信 津田 純一	山口 進	伊藤 邦夫	倉田 利一	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広	作田かおり				
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
相 撲	浜崎 照夫	倉田 利一	伊藤 広也			
卓 球	大橋 松蔵	山口 満				
バレーボール	長田 次夫	大橋 清孝	青木まり子			

H17年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典			
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	川森 有紗				
野 球	中村 大輔	田村 一義	山口 伸哉			
ソフトテニス	一花 實 赤坂 幸美	山沢 豊和 東 靖子	赤坂 正明 田島美和子	一花 正広	大畑 邦広	
陸 上	出口 良信 津田 純一	山口 進	伊藤 邦夫	倉田 利一	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広	山口 大輔	作田かおり	柴田 清則	山田 和彦	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	長田 次夫	青木まり子	小林 千夏			

H18年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩	辻 智典			
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信					
野 球	中村 大輔	田村 一義	山口 伸哉			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明	一花 正広	大畑 邦広	
陸 上	出口 良信 山口弥一郎	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広	平野 貢	山口 大輔	山元かおり	柴田 寛之	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	長田 次夫	青木まり子				

ジュニア指導者 名簿

H19年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成				
野 球	中村 大輔	田村 一義	山口 伸哉			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明	大畑 邦広		
陸 上	出口 良信	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広	平野 貢	山口 大輔	山元かおり	柴田 寛之	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	長田 次夫	青木まり子				

H20年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	中村 由美			
野 球	水口 勇作	時国 悟	山口 伸哉			
ソフトテニス	一花 實	山沢 豊和	赤坂 正明	大畑 邦広		
陸 上	出口 良信	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
	山口弥一郎					
バドミントン	垣内 俊広	平野 貢	山口 大輔	山元かおり	長尾 孝哲	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	青木まり子	長田 次夫	谷渡 潤			

H21年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	中村 由美			
野 球	水口 勇作	時国 悟	山口 伸哉			
ソフトテニス	山沢 豊和	大畑 邦広	一花 正広	川森 香子		
陸 上	出口 良信	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
	遠藤 敏也	道下 恵				
バドミントン	垣内 俊広	平野 貢	山口 大輔	山元かおり	長尾 孝哲	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	長田 次夫	青木まり子	谷渡 潤			
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

H22年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	中村 由美			
野 球	水口 勇作	時国 悟	山口 伸哉			
ソフトテニス	山沢 豊和	大畑 邦広	一花 正広	川森 香子		
陸 上	出口 良信	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
	遠藤 敏也	道下 恵				
バドミントン	垣内 俊広	平野 貢	山口 大輔	山元かおり	長尾 孝哲	
剣 道	福田 雅之	滝本 徹	田島 義久			
バレーボール	長田 次夫	青木まり子	谷渡 潤			
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

ジュニア指導者 名簿

H23年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	杉吉 志郎	中村 由美		
野 球	水口 勇作	時国 悟	山口 伸哉			
ソフトテニス	山沢 豊和	大畑 邦広	一花 正広	川森 香子		
陸 上	出口 良信 遠藤 敏也	山口 進	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広 伊藤 好彦	平野 貢 山下 勇二	山口 大輔	山元かおり	長尾 孝哲	
バレーボール	長田 次夫	堅田 孝行				
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

H24年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	杉吉 志郎	中村 由美		
野 球	水口 勇作	山口 伸哉				
ソフトテニス	山沢 豊和	大畑 邦広	大橋 和正	川森 香子		
陸 上	出口 良信 遠藤 敏也	山口 進 田畑 正村	倉田 利一	伊藤 邦夫	西本 義光	
バドミントン	垣内 俊広 伊藤 好彦	平野 貢 山下 勇二	山口 大輔	山元かおり	長尾 孝哲	
バレーボール	長田 次夫	山口 聡子				
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

H25年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	大橋 哲夫	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	杉藤 敏信	中村 吉成	杉吉 志郎	中村 由美		
野 球	水口 勇作	赤尾 久				
ソフトテニス	大畑 邦広	大橋 和正	川森 香子	細川 慎治		
陸 上	山口 進	倉田 利一	西本 義光	遠藤 敏也	田畑 正村	
バドミントン	垣内 俊広 伊藤 好彦	平野 貢 山下 勇二	山口 大輔	作田かおり	長尾 孝哲	
バレーボール	長田 次夫	土本 孝司	山口 聡子			
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

H26年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	上野 利嗣	清水 昭浩				
バスケットボール(女子)	中村 吉成	杉吉 志郎	中村 由美			
野 球	大塚 公彰	田村 一義	遠藤 外数			
ソフトテニス	山沢 豊和	大橋 和正				
陸 上	倉田 利一	西本 義光	遠藤 敏也	田畑 正村		
バドミントン	垣内 俊広 伊藤 好彦	平野 貢 山下 勇二	山口 大輔	作田かおり	長尾 孝哲	
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳				

ジュニア指導者 名簿

H27年度

競 技 名	指 導 者 氏 名
バスケットボール(男子)	上野 利嗣 清水 昭浩
バスケットボール(女子)	中村 吉成 杉吉 志郎 中村 由美 大橋 哲夫
野 球	大塚 公彰 遠藤 外数 田村 祐二 柿島 大雅
ソフトテニス	山沢 豊和 平野 粋子
陸 上	遠藤 敏也 倉田 利一 田畑 正村 西本 義光
バドミントン	平野 貢 作田かおり 山口 大輔 大塚 仁美
サッカー	小浦 倫範 宮下 淳
空 手	政浦 浩行

H28年度

競 技 名	指 導 者 氏 名
バスケットボール(男子)	上野 利嗣 倉田 克典
バスケットボール(女子)	中村 吉成 杉吉 志郎 内山 美紀 大橋 哲夫
野 球	大塚 公彰 田村 一義 柿島 大雅
ソフトテニス	山沢 豊和 平野 粋子
陸 上	遠藤 敏也 倉田 利一 田畑 正村 西本 義光 西住 茂生
バドミントン	平野 貢 作田かおり
サッカー	小浦 倫範 宮下 淳 川島 寿文 曾我 武司 岡村 達也
空 手	政浦 浩行
中学 陸上	山口 進 西本 義光 西住 茂生
中学 バスケットボール(女子)	大橋 哲夫 東間 昭一

H29年度

競 技 名	指 導 者 氏 名
バスケットボール(男子)	上野 利嗣 倉田 克典
バスケットボール(女子)	中村 吉成 杉吉 志郎 内山 美紀 大橋 哲夫
野 球	田村 祐二 柿島 大雅
ソフトテニス	山沢 豊和 平野 粋子
陸 上	遠藤 敏也 倉田 利一 田畑 正村 西本 義光 西住 茂生
バドミントン	作田かおり 平野 貢
サッカー	小浦 倫範 宮下 淳 川島 寿文 曾我 武司 岡村 達也
空 手	政浦 浩行
のびのびクラブ	上島 藤男 大橋 松蔵 中村 康夫 高村 政藤 柘植 淑子 的場ふく子 山田 之成 山本 美保 山口 進 伊藤 邦夫 長田 次夫
中学 陸上	山口 進 西本 義光 西住 茂生
中学 バスケットボール(女子)	大橋 哲夫 東間 昭一

H30年度

競 技 名	指 導 者 氏 名
バスケットボール(男子)	上野 利嗣 倉田 克典
バスケットボール(女子)	中村 吉成 杉吉 志郎 内山 美紀 大橋 哲夫
野 球	田村 祐二 柿島 大雅
ソフトテニス	山沢 豊和 平野 粋子 船山 維人
陸 上	遠藤 敏也 倉田 利一 田畑 正村 西本 義光 杉原 和広
バドミントン	酒井かおり 平野 貢
サッカー	小浦 倫範 宮下 淳 川島 寿文 曾我 武司 岡村 達也 室屋 吉和 吉村 茂之
のびのびクラブ	上島 藤男 大橋 松蔵 中村 康夫 高村 政藤 柘植 淑子 的場ふく子 山田 之成 山本 美保 山口 進 伊藤 邦夫 倉田 利一 永田 康弘 中倉 常則 大橋 規男 長田 次夫
中学 陸上	山口 進 西本 義光 西住 茂生
中学 バスケットボール(女子)	大橋 哲夫 東間 昭一
中学 ソフトテニス(男子)	長澤 晃市 稲田 友紀

ジュニア指導者 名簿

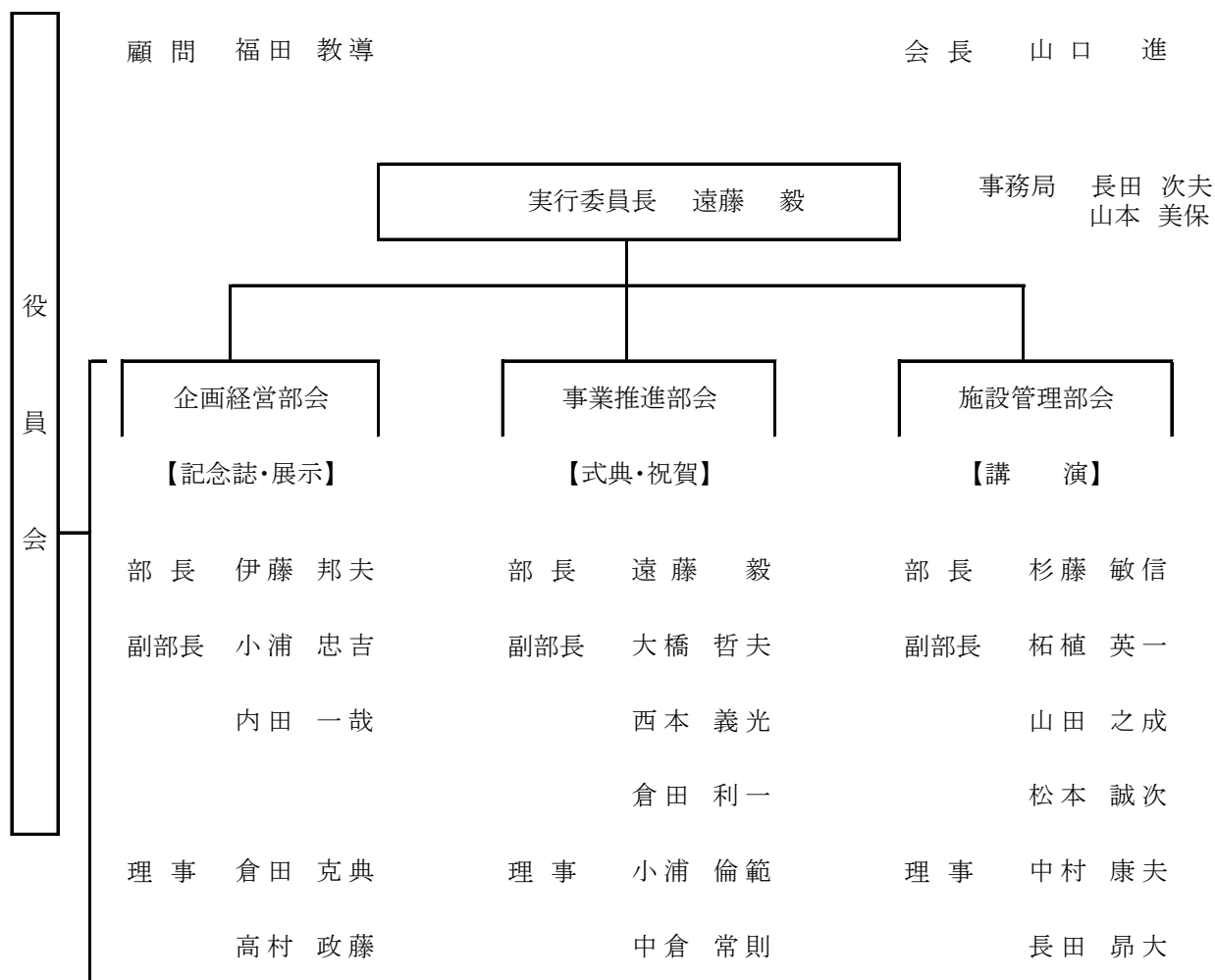
H31年度・令和元年度

競 技 名	指 導 者 氏 名					
バスケットボール(男子)	上野 利嗣	倉田 克典				
バスケットボール(女子)	中村 吉成	杉吉 志郎	内山 美紀	大橋 哲夫		
野 球	田村 祐二	柿島 大雅				
ソフトテニス	山沢 豊和	平野 粋子	船山 維人			
陸 上	倉田 利一	遠藤 敏也	田畑 正村	西本 義光	中村 貴幸	
バドミントン	平野 貢	酒井かおり				
サッカー	小浦 倫範	宮下 淳	川島 寿文	曾我 武司	岡村 達也	
	室屋 吉和	吉村 茂之				
のびのびクラブ	上島 藤男	大橋 松蔵	中村 康夫	小川 俊夫	高村 政藤	
	柘植 淑子	的場ふく子	吉川 昇	滝中きみ子	山田 之成	
	山本 美保	伊藤仁和子	山口 進	伊藤 邦夫	倉田 利一	
	高畑 宏之	中倉 常則	大橋 規男	赤坂 正雄	平野 洋子	
	長田 次夫					
中学 陸上	山口 進	西本 義光	西住 茂生			
中学 バスケットボール(女子)	大橋 哲夫	東間 昭一				
中学 ソフトテニス(男子)	長澤 晃市	石川 恵	舩田 春樹	稲田 翔太	中澤 優太	
	稲田 友紀	竿漕 嘉子				
中学 ソフトテニス(女子)	松室 隆光					
中学 バスケットボール(男子)	青山 浩					



ジュニアスポーツクラブ開講式 委嘱状交付
平成31年3月30日

設立20周年記念事業実行委員会組織図



設立20周年記念事業実行委員会

代表委員

井上 茂	南 朋之	垣内 俊広	宮下 祐輔	高畑 宏之
的場ふく子	西住 茂生	上野 利嗣	杉原 和広	宮下 淳
大橋 昂平	中村 吉成	山口 修	赤坂 幸美	吉村真由美
田村 祐二	上島 藤男	永井 和美	出村 拓史	山沢 豊和
酒井かおり	長澤 晃市	松室 隆光	狩山 玲子	出雲 貢

【実行委員会計画表】

部 会	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	10/26	10/27
式 典	実行 委員会	被表彰者選定 式典内容決定 来賓・表彰者通知				準備	当日
講 演		講師決定	プロフィール作成 広報		一文字・看板発注		
記念誌		ページ内容決定 原稿等依頼			業者印刷発注		



..... あ と が き

当クラブ設立から 20 周年の記念誌を発行するにあたり、加盟団体各位から原稿を募り、その他の関係各位からもご寄稿賜りました。

お蔭をもちまして、当クラブ設立 20 年の歩みをこの一冊に網羅することができ、この度発行の運びとなりました。

ご高覧賜りますならばこの上ない喜びであります。

結びになりますが、記念誌発行にあたりご協力賜りました関係各位に感謝と御礼を申し上げ、編集後記といたします。

令和元年 10 月 27 日

設立 20 周年 記念誌・展示部長 伊藤 邦夫

発行者	田鶴浜スポーツクラブ
住 所	石川県七尾市田鶴浜町二部 144 番地
電 話	0767(68)3803 F A X 0767(68)3808

